

# 調査資料報

令和3年6月

## 資料

令和3年6月補正予算（案）の概要

## 特集

中核市の新規事業・重点事業及び新規開館施設について

長崎市議会事務局

# 目 次

<b>◎資料 令和3年6月補正予算（案）の概要</b>	ページ
・令和3年度各会計別予算額調（令和3年6月議会）・・・・・・・・・・	1
（新型コロナウイルス感染症対策）	
・令和3年度6月市議会定例会 補正予算（案）の主な内容・・・・・・・・	2
（新型コロナウイルス感染症対策）	
・令和3年度各会計別予算額調（令和3年6月議会）・・・・・・・・・・	3
・令和3年度6月市議会定例会 補正予算（案）の主な内容・・・・・・・・	4
<b>◎特集 中核市の新規事業・重点事業及び新規開館施設について</b> ・・・・・・・・	7
・新規事業・重点事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
・新規開館施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	41
<b>◎議長会等の動き</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	54
<b>◎委員会だより</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	61
<b>◎図書室だより</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	64

## 長崎市の人口・面積（前年との比較）

	令和3年5月1日	令和2年5月1日	増 減
人 口	402,895 人	407,918 人	▲5,023 人
男	185,208 人	187,613 人	▲2,405 人
女	217,687 人	220,305 人	▲2,618 人
世帯数	185,885 世帯	186,510 世帯	▲625 世帯
面 積	405.86 km <sup>2</sup>	405.86 km <sup>2</sup>	－km <sup>2</sup>

※人口、世帯数については推計人口

令和3年度各会計別予算額調（令和3年6月議会）  
（新型コロナウイルス感染症対策）

（単位：千円）

【参考】

会 計 別	現 計 予 算 額		補 正 額	合 計		対当初 伸 率	対前年度 同期伸率	令和2年度 同期予算額 (6月6号補正後)	
	金 額	構成比		金 額	構成比				
一 般 会 計	228,709,217	60.0	1,116,194	229,825,411	60.1	2.4	▲15.3	271,341,177	
特 別 会 計	観 光 施 設 事 業	531,835	0.1	-	531,835	0.1	-	67.8	317,000
	国 民 健 康 保 険 事 業	53,749,881	14.1	-	53,749,881	14.1	-	▲2.1	54,885,428
	土 地 取 得	2,187,377	0.6	-	2,187,377	0.6	-	▲9.1	2,405,948
	中 央 卸 売 市 場 事 業	268,562	0.1	-	268,562	0.1	-	7.4	249,966
	駐 車 場 事 業	249,294	0.1	-	249,294	0.1	-	▲56.3	570,911
	財 産 区	40,479	0.0	-	40,479	0.0	-	48.1	27,340
	母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業	136,813	0.0	-	136,813	0.0	-	70.4	80,271
	介 護 保 険 事 業	48,508,443	12.7	-	48,508,443	12.7	-	4.8	46,286,264
	生 活 排 水 事 業	563,888	0.1	-	563,888	0.1	-	3.8	543,248
	診 療 所 事 業	358,850	0.1	-	358,850	0.1	-	▲1.6	364,677
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	6,014,998	1.6	-	6,014,998	1.6	-	3.2	5,827,769
	長 崎 市 立 病 院 機 構 病 院 事 業 債 管 理	997,242	0.3	-	997,242	0.3	-	▲14.2	1,161,961
	小 計	113,607,662	29.8	-	113,607,662	29.7	-	0.8	112,720,783
公 営 企 業 会 計	水 道 事 業	16,476,686	4.3	-	16,476,686	4.3	-	1.3	16,268,205
	下 水 道 事 業	22,639,799	5.9	-	22,639,799	5.9	-	▲3.2	23,385,825
	小 計	39,116,485	10.3	-	39,116,485	10.2	-	▲1.4	39,654,030
合 計	381,433,364	100.0	1,116,194	382,549,558	100.0	1.4	▲9.7	423,715,990	

# 令和3年度6月市議会定例会 補正予算（案）の主な内容 （新型コロナウイルス感染症対策）

## I 一般会計予算

**1,116,194** 千円

事業名	補正額 (千円)	内 容	担当課
<b>3 款 民 生 費 9,500</b>			
1 放課後対策推進費 放課後児童健全育成費	9,500	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、放課後児童クラブ利用者への支援及び感染拡大防止を図るため、同施設が閉所した場合等に利用者へ返還する利用料について、事業者へ補助を行うもの。  現計予算額 1,596,666千円	こどもみらい課
<b>7 款 商 工 費 861,370</b>			
2 商業振興対策費 中小事業者等一時金(第2期)  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">県との協調事業</div>	676,500	飲食店の時短営業や不要不急の外出・移動の自粛により、直接・間接の影響を受けて売上が減少した市内の中堅・中小事業者に対し、県と連携して一時金を支給するもの。 ・減収要件：減収率50%以上 ・支給額：令和3年4月、5月、6月うち、減収要件を満たす月の事業収入減少額（最大2か月分） ・上限額：20万円（10万円×2か月）※ ※ 市の単独事業分と合わせて最大35万円	商工振興課
3 観光振興対策費 事業持続化支援金 (宿泊事業者、端島航路事業者、観光バス事業者)	184,870	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市内の宿泊事業者、軍艦島上陸観光を行う事業者及び観光バス事業者が甚大な影響をうけているため、支援金を交付するもの。 【対象事業者】 宿泊事業者 250事業者 173,899千円 端島航路事業者 5事業者 5,041千円 観光バス事業者 4事業者 5,930千円	観光政策課 交流戦略推進室
<b>8 款 土 木 費 235,324</b>			
4 都市交通対策費 公共交通確保支援金	235,324	新型コロナウイルス感染症により利用者が減少する中でも、引き続き市民生活に必要な移動手段の確保に努めてもらうため、公共交通事業者に対し緊急的に支援を行うもの。 【対象事業者】 乗合バス事業者 2事業者 142,400千円 路面電車事業者 1事業者 54,400千円 タクシー事業者 313事業者 38,520千円	公共交通対策室
<b>10 款 教 育 費 10,000</b>			
5 図書館管理運営費 市立図書館運営費	10,000	「新しい生活様式」に対応するため、スマートフォンやタブレット端末、PC等の機器で利用できる商用電子書籍を整備するもの。 ・購入数 1,730冊（1,940ライセンス）  現計予算額 550,465千円	市立図書館

## 令和3年度繰越明許予算

商業振興対策費 中小事業者等一時金(第2期)  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">市の単独事業</div>	797,022	飲食店の時短営業や不要不急の外出・移動の自粛により、直接・間接の影響を受けて売上が減少した市内の中堅・中小事業者に対し、市独自で一時金を支給するもの。 ・減収要件：減収率20%以上 ・支給額：令和3年4月、5月、6月のうち、減収要件を満たす月の事業収入減少額（最大2か月分） ・上限額： 25万円（12.5万円×2か月）（減収率20%～50%未満） 15万円（7.5万円×2か月）（減収率50%以上）※ ※ 県との協調事業分と合わせて最大35万円	商工振興課
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">総額1,473,522千円</div>			

令和3年度各会計別予算額調（令和3年6月議会）

(単位:千円)

【参考】

会 計 別	現 計 予 算 額		補 正 額	合 計		対当初 伸 率	対前年度 同期伸率	令和2年度 同期予算額 (6月7号補正後)	
	金 額	構成比		金 額	構成比				
一 般 会 計	229,825,411	60.1	241,256	230,066,667	60.1	2.5	▲16.0	274,050,994	
特 別 会 計	観 光 施 設 事 業	531,835	0.1	-	531,835	0.1	-	14.8	463,103
	国民健康保険事業	53,749,881	14.1	19,308	53,769,189	14.0	0.0	▲2.0	54,885,428
	土 地 取 得	2,187,377	0.6	-	2,187,377	0.6	-	▲9.1	2,405,948
	中央卸売市場事業	268,562	0.1	-	268,562	0.1	-	7.4	249,966
	駐 車 場 事 業	249,294	0.1	-	249,294	0.1	-	▲57.3	583,818
	財 産 区	40,479	0.0	-	40,479	0.0	-	48.1	27,340
	母子父子寡婦福祉 資金貸付事業	136,813	0.0	-	136,813	0.0	-	70.4	80,271
	介 護 保 険 事 業	48,508,443	12.7	-	48,508,443	12.7	-	4.8	46,286,264
	生 活 排 水 事 業	563,888	0.1	-	563,888	0.1	-	3.8	543,248
	診 療 所 事 業	358,850	0.1	-	358,850	0.1	-	▲1.6	364,677
	後期高齢者医療事業	6,014,998	1.6	-	6,014,998	1.6	-	3.2	5,827,769
	長崎市立病院機構 病院事業債管理	997,242	0.3	-	997,242	0.3	-	▲16.2	1,189,361
	小 計	113,607,662	29.7	19,308	113,626,970	29.7	0.0	0.6	112,907,193
公 営	水 道 事 業	16,476,686	4.3	0	16,476,686	4.3	-	1.2	16,278,344
企 業	下 水 道 事 業	22,639,799	5.9	-	22,639,799	5.9	-	▲3.2	23,385,825
会 計	小 計	39,116,485	10.2	0	39,116,485	10.2	-	▲1.4	39,664,169
合 計	382,549,558	100.0	260,564	382,810,122	100.0	1.5	▲10.3	426,622,356	

## 令和3年度6月市議会定例会 補正予算（案）の主な内容

### I 一般会計予算

**241,256** 千円

事業名	補正額 (千円)	内 容	担当課
<b>2 款 総務費 66,000</b>			
1 市民活動推進費 コミュニティ助成事業費補助金	2,500	一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業助成金を活用し、コミュニティ活動に必要な備品の整備に係る経費に対して助成するもの。 ・対象団体 下西山町自治会 ・対象事業 冷暖房空調機、活動用備品整備	自治振興課
2 【単独】市有財産保全事業費 西小島2丁目	42,800	西小島2丁目の市有地の石垣に膨張箇所等が見られることから、危険を除去するために石垣等の補修に係る工事費を増額するもの。  現計予算額 18,500千円	
3 【補助】被爆建造物等保存整備事業費 長崎県防空本部跡(立山防空壕)	20,700	長崎県防空本部跡（立山防空壕）について、令和2年度に行った防空壕内の劣化状況や地盤等の現状把握調査の結果をもとに、応急修繕や電気設備更新のための設計を行うとともに、入口から知事室へと続く立入制限エリアの一部開放に向けた調査・設計を行うもの。	被爆継承課
<b>3 款 民生費 56,648</b>			
4 【単独】障害者福祉施設整備事業費 障害福祉センター	28,900	障害福祉センター診療所において増加する発達障害児等に対して療育を行う訓練室が不足しているため、療育に従事する専門スタッフが十分稼働できるよう、訓練室を増やす改修工事を行い、診療所の機能強化を図るもの。 ・言語療法室の増設 4部屋→6部屋  現計予算額 25,900千円	障害福祉課
5 子育て支援環境整備費	17,608		幼児課
(1) 病児・病後児保育費	4,654	子ども・子育て支援交付金の補助基準額が改定されたことに伴い、病児・病後児保育施設に対する委託費を増額するもの。 ・対象施設数 5施設  現計予算額 77,871千円	
(2) 特定教育・保育施設等実施事業費補助金	2,450	子ども・子育て支援交付金の補助基準額が改定されたことに伴い、民間保育所・民間認定こども園で実施する在園児の延長保育に係る補助額を増額するもの。 ・対象施設数 111施設  現計予算額 161,202千円	
(3) 一般型一時預かり費補助金	1,848	子ども・子育て支援交付金の補助基準額が改定されたことに伴い、民間保育所・民間認定こども園の一時預かりに係る補助額を増額するもの。 ・対象施設数 28施設  現計予算額 73,776千円	
(4) 幼稚園型一時預かり費補助金	8,656	子ども・子育て支援交付金の補助基準額が改定されたこと及び新たに保育体制充実加算の要件弾力化が行われたことに伴い、幼稚園の一時預かりに係る補助額を増額するもの。 ・対象施設数 9施設  現計予算額 81,949千円	

事業名	補正額 (千円)	内容	担当課
6 【補助】児童福祉等施設整備事業費補助金 放課後児童クラブ	1,140	国の補助基準額の改定に伴い、狭あい化の解消を図る施設整備に係る補助額を増額するもの。 ・対象施設 2施設  現計予算額 63,342千円	こどもみらい課
7 事務費 生活保護費事務費	9,000	デジタル化による業務効率化を図るため、短時間で効率的な訪問調査を行えるようシステムを導入するとともに、タブレットを購入するもの。  現計予算額 90,142千円	中央総合事務所 生活福祉1課
<b>4款 衛生費 31,608</b>			
8 繰出金 国民健康保険事業特別会計繰出金 (直営診療施設勘定)	19,308	伊王島国民健康保険診療所において、医師の休職に伴う応援医師の派遣に係る経費として、一般会計からの繰出金を増額するもの。  現計予算額 58,512千円	伊王島国民健康 保健診療所
9 繰出金 水道事業会計繰出金	12,300	国の補助内示増に伴い、配水施設整備事業(水道管路の耐震化事業)に係る一般会計出資金を増額するもの。  現計予算額 282,494千円	上下水道局 経理課
<b>7款 商工費 2,000</b>			
10 観光振興対策費 Sea級グルメ九州大会開催費補助金	2,000 2,000	一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業助成金を活用し、長崎港を中心とした地域の賑わいづくりのために実施する「Sea級グルメ九州大会」の開催費に対して助成するもの。 ・助成対象者 みなとオアシスNAGASAKI運営協議会 ・開催日 令和3年11月14日(予定)	観光政策課
<b>8款 土木費 60,000</b>			
11 河川総務費 洪水ハザードマップ作成費	20,000	長崎県が指定した八郎川の洪水浸水想定区域をもとに、避難に関する情報を住民に周知することで円滑な避難を促すため、ハザードマップを作成するもの。	土木防災課
12 【単独】自然災害防止事業費 急傾斜地崩壊対策	40,000	県の補助内示増に伴い、事業の進捗を図るため事業費を増額するもの。 ・実施地区 田上(6)地区、東町地区、深堀5丁目地区  現計予算額 215,000千円	
<b>10款 教育費 25,000</b>			
13 【単独】社会教育施設整備事業費 図書室整備	13,700	ヴィラ・オリピカ伊王島の用途廃止に伴い、住民が気軽に立ち寄れる地域コミュニティの活動の場として、伊王島地区に新たな図書室の整備を行うもの。	生涯学習課
14 文化財保護推進費 伝統芸能活動費補助金	11,300	一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業助成金を活用し、長崎くんに今後演し物を奉納することが予定されている団体等が使用する備品の購入費等に対して助成するもの。 ・助成対象者 元船町自治会、銀屋町自治会、八幡町自治会、榎津通り自治会、賑町自治会	文化財課

※ 一般会計の繰越明許費は、「都市構造再編事業費 長崎駅周辺地区」1件を計上。

**II 一般会計債務負担行為 30,397,467 千円**

事業名	限度額 (千円)	内容	担当課
1 総合窓口システム構築委託	37,467	新庁舎移転とあわせ、市民サービスの向上及び職員の入力作業の削減と効率化を図るため、総合窓口システムを構築するもの。 設定期間 令和3年度～令和4年度	情報統計課
2 新東工場整備運営事業	30,360,000	新東工場の設計・建設及び運営・維持管理を行うもの。 設定期間 令和4年度～令和27年度 供用開始 令和8年4月（予定）	環境整備課

**III 特別会計予算 19,308 千円**

事業名	補正額 (千円)	内容	担当課
1 国民健康保険事業特別会計 直営診療施設勘定	19,308 19,308		伊王島国民健康 保健診療所
(1) 職員給与費 伊王島診療所	▲4,083	伊王島国民健康保険診療所において、医師の休職に伴い職員給与費を減額するもの。 現計予算額 23,846千円	
(2) 施設管理運営費 伊王島診療所	23,391	伊王島国民健康保険診療所において、医師の休職に伴う応援医師の派遣に係る経費を計上するもの。 現計予算額 18,580千円	

**IV 企業会計予算 0 千円**

事業名	補正額 (千円)	内容	担当課
1 水道事業会計	0		上下水道局 経理課
(1) 配水施設整備事業 【収入のみ補正】	0	国の補助内示増に伴い、国庫補助事業（水道管路緊急改善事業）を追加して実施するため、その財源を補正するもの。  【事業費】 国庫補助事業 303,247千円 単独事業 ▲303,247千円  【財源】 国・生活基盤施設耐震化等交付金 101,083千円 一般会計出資金 12,300千円 自己資金 ▲113,383千円	

## 特集 中核市の新規事業・重点事業及び新規開館施設について

本特集は、本市を除く中核市61市のうち、同規模人口の16市及び県庁所在市である20市の計36市を調査対象として、令和3年度における新規事業・重点事業及び新規開館施設について調査照会し、その概要をまとめたものです。

### 新規事業・重点事業

都市名	新規事業・重点事業	頁
青森市	新しい働き方担い手誘致プロジェクト	13
盛岡市	移住・定住・交流人口対策事業	13
	食と農のバリューアップ推進事業	13
	競技大会等開催事業(スポーツクライミング第4回コンバインドジャパンカップ)	13
秋田市	移住促進事業	13
	文化創造プロジェクト	13
山形市	スマートシティ調査検証事業	14
	山形駅西口バスベイ整備事業	14
福島市	幼稚園送迎ステーション事業	14
	エールレガシー事業	14
	新まちなか広場整備事業	14
水戸市	1歳6か月児健診の個別化	14
	サテライトオフィス等開設促進事業	15
	AIドリルと連携した学びの診断	15
宇都宮市	LRTの整備	15
	スマートシティの推進	15
	子育て支援の充実(①こども医療費の助成)	15
	子育て支援の充実(②養育費確保支援事業)	16
前橋市	キャッシュレスポイント還元事業	16
	スローシティ推進事業(前橋・赤城スローシティ地域づくり推進事業)	16
	自転車活用推進事業(シェアサイクル運営委託)	16
	福祉医療費支給事業(18歳になる年度までの入院医療費無料化)	17
柏市	フレイル予防事業	17
	かしわフレイル予防ポイント制度事業	17
	インターネットゲートキーパー事業	17
	離婚前後親支援事業	18
	音楽の街かしわの創出	18

都市名	新規事業・重点事業	頁
横須賀市	福祉コミュニケーションツールの充実(福祉コミュニケーション基盤構築事業)	18
	ブルーカーボン推進の検討(温暖化対策推進事業費)	18
	ナラ枯れ対策の支援 緑化推進費(ナラ枯れ対策支援事業)	19
富山市	とやまシティラボ推進事業	19
	歩くライフスタイル推進事業	20
	大規模災害被災地支援事業	20
金沢市	金沢未来のまち創造館費	20
	木の文化都市・金沢創出事業費	20
	子育て支援施策	20
	学生のまち金沢推進費	21
	デジタル戦略推進費	21
福井市	ふくいプロモーション事業	21
	バーチャル文化芸術祭事業	21
	教職員等勤務状況デジタル化事業	21
甲府市	おしろらんど(子ども運動遊び事業)	21
長野市	オリンピック・パラリンピックムーブメント促進事業	22
	AI等先進技術活用事業	22
	善光寺御開帳2022関連事業	22
	ながのジビエ普及促進事業	23
	「川中島の戦い」博物館常設展示室整備事業	23
岐阜市	庁舎跡活用事業	23
	キャッシュレス決済を活用した地域経済活性化事業(コロナ対策)	24
	高島屋南地区公共施設整備事業(子育て支援施設)	24
	岐阜公園再整備事業	24
	教職員の多忙解消事業	24
豊田市	SIBを活用した社会参加型介護予防事業	24
大津市	持ち運べる大津市役所の実現	25
	産後ケア	25
	子どもの居場所づくり	25
	学校夢づくりプロジェクト	25
	eスポーツフェスティバルの開催	25
豊中市	児童生徒応援給付金給付事業	25
	保育施設等利用子育て世帯への副食費給付金	26

都市名	新規事業・重点事業	頁
豊中市	妊産婦向けタクシー利用支援事業	26
	重層的支援体制整備事業(各地域包括支援センターへの認知症地域支援推進員の配置)	26
	医療的ケア児支援事業	26
枚方市	待機児童対策の推進	26
	子どもの見守り体制強化	26
	ICTを活用した授業の推進	26
	枚方市駅周辺の再整備	26
	総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信	27
東大阪市	郊外型シェアオフィス整備支援事業	27
	電子書籍購入経費	27
	統合型発信ツール経費	27
尼崎市	中学校給食の開始	27
	(仮称)尼崎市保育士・保育所支援センター設置運営事業	28
	児童相談所設置準備事業	28
	子どものための権利擁護委員会運営事業	28
	要保護・要支援児童等見守り強化事業	28
西宮市	保育所入所選考AIシステム導入事業	29
	学校情報化推進事業	29
	健康ポイント事業	29
	乳幼児等医療費助成制度の拡充	29
	給水スポット整備事業	29
奈良市	民間園おむつ処分費補助事業	29
	養育費確保支援事業	29
	月ヶ瀬梅林名勝100周年記念事業	29
	ふるさと起業家支援事業	29
	適応指導教室青山教室(HOP青山)運営事業	30
和歌山市	わかやま市型移住支援金の創設	30
	中学校全員給食に向けた準備	30
	こども医療費助成制度の充実	30
鳥取市	新可燃物処理場建設事業	30
	減容化施設整備事業	31
	鳥取城跡保存修理事業費	31
	鳥取市生涯学習推進講座 麒麟のまちアカデミー開設費	31
	鳥取砂丘西側整備事業	32

都市名	新規事業・重点事業	頁
松江市	製造業競争力強化事業費	32
	産婦健康診査事業費(乳幼児健診事業費)	32
	医療体制の整備に係る経費	32
	観光回復キャンペーン事業費(ReHappy! キャンペーン)	33
	保育所等入所選考システム導入事業費	33
倉敷市	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	33
	金融機関連携型中小企業支援事業	33
	居住誘導区域空家等改修事業	33
	景観形成重点地区景観向上推進事業	33
	浸水対策事業	34
福山市	新型コロナウイルス感染症対策の強化(市民への生活支援)	34
	都市魅力の創造(福山駅周辺の再生)	34
	都市魅力の創造(医療提供体制の充実)	34
	都市魅力の創造(MICEの推進)	34
	人口減少対策の強化(福山ネウボラの強化)	35
高松市	スマートシティたかまつ推進事業	35
	温泉をいかした塩江地域の観光振興事業・附属医療施設(塩江分院)整備事業	35
	再生可能エネルギー普及促進事業	35
	地域公共交通再編事業	36
	ほっとかんまち高松づくり事業(高松型地域共生社会構築事業)	36
松山市	待機児童対策・保育の質向上事業	36
	博物館開館40周年等記念事業	36
	松山圏域消防指令センター整備事業	36
	果樹流通施設整備事業	36
	森林・山村多面的機能発揮対策事業	37
高知市	れんけいこうち広域都市圏関連事業(日曜市出店事業)	37
	れんけいこうち広域都市圏関連事業(地場産品販路拡大推進事業)	37
	れんけいこうち広域都市圏関連事業(二段階移住推進事業)	37
	GIGAスクールサポーター配置事業	37
	マンホールトイレ整備事業	37
大分市	新たなモビリティサービス事業	37
	西部海岸地区憩い・交流拠点施設整備事業	38
宮崎市	GIGAスクール推進事業	38

都市名	新規事業・重点事業	頁
宮崎市	神話の魅力を生かした観光誘客推進事業	38
	高松橋改修事業(長寿命化対策)	38
鹿児島市	行政デジタル化推進事業	38
	SDGs推進事業	39
	かごしま移住支援・プロモーション事業	39
	防災ガイドマップ作成・配布事業	39
	「パートナーシップ宣誓制度の導入」・「性の多様性啓発支援事業」	40
那覇市	オープンデータ利活用推進事業	40
	デジタル化推進事業	40
	那覇市コロナ対策事業刷新支援事業	40

## 新規開館施設

都市名	新規開館施設	頁
青森市	あおもり親子はぐくみプラザ	41
秋田市	秋田市まちなか観光案内所	41
	秋田市文化創造館	41
	泉外旭川駅	41
福島市	福島市写真美術館(通称:花の写真館)	42
水戸市	水戸市清掃工場「えこみっと」	42
宇都宮市	クリーンセンター下田原	42
	エコパーク下横倉	43
柏市	柏三小こどもルーム第三・第四保育室	43
	公設市場立体駐車場	43
	柏駅東口第二駐輪場(移転)	44
	土小学校(校舎長寿命化改良)	44
横須賀市	平和中央公園	44
富山市	富山市3×3バスケットボールコート	44
金沢市	金沢市第二本庁舎	45
福井市	福井市消防局 中消防署北分署	45
甲府市	甲府市協働支援センター	45
長野市	長野市国民宿舎松代荘	46
岐阜市	中山道加納宿まちづくり交流センター	46

都市名	新規開館施設	頁
豊田市	豊田地域医療センター診療棟	47
大津市	高機能消防指令システム(更新整備事業)	47
豊中市	地域共生センター	47
	二ノ切温水プール	47
尼崎市	城内まちづくり整備事業	48
西宮市	西宮市立西宮養護学校	48
	西宮市立大箇市民館	48
	西宮市役所第二庁舎(危機管理センター)	48
和歌山市	和歌山市民図書館	48
松江市	松江市立義務教育学校玉湯学園	49
倉敷市	市営川辺団地	49
	市営有井団地	49
	市営箭田南団地	50
	阿津防災備蓄倉庫	50
	西阿知小学校・西阿知幼稚園	50
高松市	高松市川島こども園	50
	高松市仏生山交流センター・中部総合センター(仮称)	51
大分市	大友氏館跡庭園	51
鹿児島市	鹿児島市国際交流センター	51
	地域包括支援センター武・田上 武岡事業所	52
	鹿児島中央駅東口駅前広場観光案内所	52
	かごしま健康の森公園パークゴルフ場	52
	加治屋まちの杜公園	52
那覇市	那覇市人材育成支援センターまーいまーいNaha	53
	ともかぜ振興会館	53

## 〔青森市〕

**新しい働き方担い手誘致プロジェクト**

(R3年度当初予算 54,911千円)

## ■概要

コロナ禍における地方移住への関心の高まりを好機と捉え、移住の関心層、検討層、計画層の段階に応じたアプローチにより、企業やリモートワーク人材、新規就農者の誘致などに取り組む。

## ■内容

生活様式・働き方の変化、地方への回帰志向の高まりを踏まえ、リモートワーク人材や新規就農希望者の誘致を通じた移住・定住人口の拡大を図るための事業を行う。

## ■特色

新しい働き方の担い手となる移住希望者の誘致に当たり、主に、東青地域を移住先候補として選んでもらえるよう、圏域全体の魅力をまとめた効果的な情報発信、移住相談及び移住体験など、移住に関心のあるかたや移住を検討されているかたへのアプローチを東青5市町村(※)が連携して行う。

※青森市、平内町、今別町、外ヶ浜町、蓬田村

## 〔盛岡市〕

**移住・定住・交流人口対策事業**

(R3年度当初予算 32,764千円)

## ■概要

従来の取組に加え、新たに市中心部に「関係人口交流拠点」を設置し、東京圏等の関係人口や地元の若者と、地元の企業や団体が抱える地域課題に関わる解決の機会の創出(マッチング)などを通して、地域との関係性を深められる取組を進めるとともに、移住・定住や若者の地元定着の促進を図るため、移住コーディネーターを配置し、相談支援体制を強化する。

## ■内容

移住・定住促進に係るプロモーション、東京圏等の関係人口をつなぐ場づくり、「関係人口交流拠点」の設置・運営など。

## ■特色

マッチングなどを通して、地域との関係性を深められる取組を進めるとともに、移住・定住や若者の地元定着の促進を図るため、移住コーディネーターを配置し、相談支援体制を強化する。

**食と農のバリューアップ推進事業**

(R3年度当初予算 25,057千円)

## ■概要

生産者、事業者、消費者が一体となった「美食王国もりおか」の確立に向け、引き続き、盛岡市の食や農に対する関心・愛着の醸成、6次産業化等を通じた特色ある商品等の開発支援などに取り組むほか、

「withコロナ」時代に合わせた盛岡産農畜産物の魅力発信を行い、生産者の所得向上と食関連産業の活性化を図る。

## ■内容

6次産業化等を通じた特色ある商品等の開発支援、盛岡産農畜産物の魅力発信など。

## ■特色

生産者、事業者、消費者が一体となった「美食王国もりおか」の確立。

**競技大会等開催事業(スポーツライミング第4回コンバインドジャパンカップ)**

(R3年度当初予算 2,000千円)

## ■概要

競技力の向上と盛岡の魅力発信を図るため、スポーツライミング第4回コンバインドジャパンカップを、岩手県営運動公園スポーツライミング競技場で開催する。

## ■内容

スポーツライミング第4回コンバインドジャパンカップを、岩手県営運動公園スポーツライミング競技場で開催する。

## ■特色

全国大会開催による競技力向上と魅力発信。

## 〔秋田市〕

**移住促進事業**

(R3年度当初予算 86,807千円)

## ■概要

移住希望者及び新卒者等への情報発信、支援制度の充実、移住相談ツアーの実施並びに首都圏等における移住相談体制の強化などを通じて、秋田市への移住を促進する。

**文化創造プロジェクト**

(R3年度当初予算 50,981千円)

## ■概要

秋田市文化創造館の開館を文化創造のまちの実現に向けたスタートと位置付け、文化創造館を拠点に、まちに関わり、まちを楽しむ市民活動の創出や人と人のつながりを生み出すなど、芸術文化を切り口に、将来のまちづくりを見据えた継続的な取組を実施する。

## 1 文化創造プロジェクト推進会議の開催

プロジェクト推進のための有識者による会議を開催する。

## 2 リーディング事業の実施

「200年をたがやす」をテーマに、食、工芸、生活・産業、美術、舞台の5分野で制作過程の公開や市民参加プログラムを文化創造活動の拠点である文化創造館で実施する。

## 〔山形市〕

**スマートシティ調査検証事業**

(R 3 年度当初予算 24,427千円)

## ■目的

限られた人・財源下においても、複雑・相互に絡み合う地域課題を解決したり、新たなサービスを創出すること等により地域の活力を維持するといったスマートシティの取組を実施するため。

## ■概要

- ・基本計画の策定
- ・個別施策の実証
- ・他自治体調査
- ・やまがたA I部の活動にかかる補助

今年度スマートシティの実現を担う人材を育成する活動として、昨年開始した「やまがたA I部」の活動に対して、今年度より補助する予定。

やまがたA I部では、高校生を対象にA Iに関する先進技術を学ぶ機会を提供し高校生のスキルアップを図っており、今年3月にはやまがたA I甲子園を開催している。

※やまがたA I甲子園：やまがたA I部に参加している県内の高校生による各学校ごとに組み上げたA Iをプレゼンテーション発表し出来栄を競うもの。

**山形駅西口バスベイ整備事業**

(R 3 年度当初予算 35,400千円)

## ■概要

山形駅西口に面する市道の歩道部分の一部を切り欠いて2台分のバスベイを整備。これと併せてバス停上屋やベンチを設置する。

## ■内容

J R 山形駅に付随する東口バスプールは、現在、路線バスや都市間バスのほか、山形市が運行するコミュニティバスなどが1日約660便発着し、これらのバスの発着が集中した場合、バスプールが飽和状態になることが長年の課題となっており、これまでも一部路線の他停留所への分散などの対策をおこなっているが、抜本的な解決に至っていない。また、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが依然として立たない中、バスの発着が集中することで、利用者が「密」の状態になることも懸念されている。このため、山形駅西口に新たにバスの専用駐車帯「バスベイ」を整備し、バスと利用者両方の混雑解消を図る。

加えて、山形駅西口付近には、新たに「山形県総合文化芸術館(県民会館)」が整備されるなど、近年周辺土地利用の変化が著しく、利用者ニーズも多様化していることから、西口バスベイ整備を契機として、山形駅周辺の交通結節機能強化につなげたいと考えている。

なお、今回の整備は、新型コロナウイルス感染症対策でもあるため、地方創生臨時交付金の活用が可能であった。また、令和2年度に「立地適正化計画」を策定しており、国の新たな支援事業も併せて活用した事業となっている。

〈事業スケジュール〉

- ・令和2年度：調査及び設計業務（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用）
- ・令和3年度：整備工事（バスベイ2台分、バス停上屋2棟など）※都市構造再編集中支援事業（個別支援制度）を活用

## 〔福島市〕

**幼稚園送迎ステーション事業**

(R 3 年度当初予算 18,493千円)

## ■概要

受入れに余裕のある地域型保育施設と私立幼稚園の利用を促進するため、幼稚園の開園時間前後に預かり保育を行う「送迎ステーション」を設置する。

**エールレガシー事業**

(R 3 年度当初予算 42,180千円)

## ■概要

連続テレビ小説「エール」の放送で認知された「古閑裕而のまち福島市」の魅力を継続的に伝えるため、気仙沼市等と連携し、被災3県朝ドラ連携プロジェクトとして首都圏での観光PRと移住促進プロモーションを行うとともに、エールドラマセットの再現展示やロケ地・まち歩きマップの作成により、さらなる誘客を図る。

**新まちなか広場整備事業**

(R 3 年度当初予算 465,621千円)

## ■概要

中心市街地の賑わい・市民交流・回遊軸の拠点、さらには防災広場として、R 3 年度末の完成を目指し、新まちなか広場の整備を進める。

また、パセオ(注)自転車駐車場内に公衆トイレと倉庫を新たに整備し、リニューアルを行う。

(注)パセオ通りとは、街なかの商店街にあるコミュニティ道路のこと。

## 〔水戸市〕

**1歳6か月児健診の個別化**

(R 3 年度当初予算 22,477千円)

## ■概要

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、従来の集団健診から医療機関での個別健診に変更を行う。

## ■内容

対象 令和元年8月から令和2年9月生まれの幼

児2,450人

■特色

身近なかかりつけ医でいつでも受診ができるように体制を整備する。

**サテライトオフィス等開設促進事業**

(R3年度当初予算 15,000千円)

■概要

市外企業が市内に設置するサテライトオフィス又は本社の移転開設を促進するため、補助制度を創設

■内容

市外在住の従業員が1名以上市内に移住することを要件とし、オフィス改装費や償却資産取得費、移転経費を補助

補助率3分の1、補助上限額5,000千円

■特色

移住者若しくは市民の新規雇用が3名以上の場合は、1,000千円を加算することとし、移住と雇用の促進を図る。

**AIドリルと連携した学びの診断**

(R3年度当初予算 4,110千円)

■概要

令和2年度に整備した児童生徒1人1台の教育用タブレットを活用し、AIドリルと連携した総合学力調査を実施する。

■内容

対象 小学校5年生、中学校2年生

■特色

児童生徒の苦手分野を診断したうえで、1人1人に応じたAIドリルの問題を提供することにより、全体的な学力向上を目指す。

**〔宇都宮市〕**

**LRTの整備**

(R3年度当初予算 19,829,646千円)

■概要・特色

すべての市民の安全で快適な移動手段を確保し、交通渋滞の緩和、環境負荷の低減を図るとともに、車利用からの転換を促進する公共交通ネットワークの実現に向け、その要となる東西基幹公共交通としてLRTを整備する。

■内容

- ・全体計画区間：桜通り十文字付近～芳賀高根沢工業団地付近約18km
- ・優先整備区間：JR宇都宮駅東口～芳賀高根沢工業団地付近14.6km(宇都宮市域：12.1km)
- ・概算工事費：684億円(うち宇都宮市域分：603億円)
- ・事業運営方式：公設型上下分離方式
- 軌道運送事業者…宇都宮ライトレール株式会社

軌道整備事業者…宇都宮市、芳賀町

**スマートシティの推進**

(R3年度当初予算 92,939千円)

■概要・特色

市民生活の質の向上や社会経済活動の活性化がこれまで以上に図れるよう、宇都宮市が進めてきた「スマートシティ」の取組を、子育てや教育、福祉など市民により身近な分野に拡充するなど、あらゆる分野において、ICTなどの先進技術を効果的に取り入れ、子どもから高齢者まで誰もが豊かで安心して暮らすことができ、夢や希望がかなう「スーパースmartシティ」の実現に向けた施策・事業を推進する。

■内容

・【拡充】スマートシティの推進に係る実証実験への支援

ICT等の先進技術を活用し、社会課題の解決や新たな事業の創出などに官民協働で取り組む「Uスマート推進協議会」に対して、市の課題解決や市民サービスの向上に資する実証実験に要する費用を交付するもの

・【新規】データプラットフォームの実証

データを活用した市民の利便性向上や地域社会の活性化に向け、データの収集・連動・見える化等を実現するデータプラットフォームについて検証するもの

・【新規】地域情報化に係る市民や企業等の「交流・連携・発信の場」の創設

地域社会のデジタル化のより一層の推進に向け、IT初心者からIT専門家まで様々な市民や企業が、ICT利活用の取組を拡大できるよう、自由に交流・連携・発信できる場を創設するもの

**子育て支援の充実(①こども医療費の助成)**

(R3年度当初予算 2,538,579千円)

■概要

疾病の早期発見・早期治療を促し、子どもの健康増進や子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、健康保険が適用になる治療を受けた際に支払う医療費(自己負担分)を助成するもの。

■内容

- ・助成対象者
  - 0歳～高校3年生相当(出生した日から満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子ども)
- ・助成方式
  - 現物給付(栃木県内医療機関受診)
  - 償還払い(栃木県外医療機関受診)
- ・所得制限 なし

## ■特色

- ・助成対象年齢の拡大による制度拡充  
令和3年4月から、助成対象年齢の上限を「中学3年生」から「高校3年生相当」までに拡大

## 子育て支援の充実（②養育費確保支援事業）

（R3年度当初予算 4,804千円）

### ■概要・特色

養育費の受け取りは子どもの重要な権利であり、支払いは親の義務であることを当事者や社会が認識する契機とするため、養育費の取り決めに促進するとともに、継続した履行確保に向けた支援を行い、ひとり親家庭の経済的な安定を図る。

### ■内容

〈公正証書等作成支援事業〉

- ・公正証書等作成促進補助金

養育費に関する取り決めのため、公正証書等を作成した際に負担した公証手数料等の費用を助成する。

助成額（上限額）：43,000円/件

- ・弁護士による公正証書作成支援業務委託

弁護士を活用し、公正証書の作成や公証役場での手続きの支援を行う。

弁護士委託料：66,000円/件

〈養育費保証支援事業〉

- ・養育費保証支援事業補助金

民間保証会社等と、養育費の代理請求や立替えに係る保証契約を締結した際に負担した費用（保証料）を助成する。

助成額（上限額）：50,000円/件

## 〔前橋市〕

## キャッシュレスポイント還元事業

（R3年度当初予算 59,500千円）

### ■目的

コロナ禍において非接触型決済方法として浸透しつつあるキャッシュレス決済の利用をさらに促進することにより事業者の生産性と消費者の利便性を向上させるとともに、新型コロナウイルスの影響により打撃を受けた市内店舗を支援することを目的とする。

### ■内容・特色

事業者にとってコスト負担（導入コスト・決済手数料）に優れ、かつ、利用者にとって手軽に利用開始できるバーコード（QRコード）決済に対し、決済事業者を通じポイントを付与（還元）する。決済事業者は、広く市内店舗及び市民に活用してもらうため複数者とする。

ポイント付与率20%、ポイント付与上限2,000円/期間を想定。

## スローシティ推進事業（前橋・赤城スローシティ地域づくり推進事業）

（R3年度当初予算 8,000千円）

### ■目的

スローシティ地域づくりや赤城山ツーリズムの推進に寄与する取組・事業を募集し、民間事業者・団体等からの提案を受け、採択した事業に補助することで、スローシティ地域づくりを推進する。

### ■内容・特色

民間団体等が行う地域資源を守り育み次世代に継承する事業について、提案型事業として募集、採択する仕組みにより実施する。

〈課題〉

行政の中立性・公平性を期すため、可能な限り市の所属・職員がイベント等の実行委員会事務局を担うことやスタッフとしての参画を前提とした事業は原則として対象外とする。

〈進捗状況〉

令和3年4月からの募集に向けて補助金交付要綱を整備中。

## 自転車活用推進事業（シェアサイクル運営委託）

（R3年度当初予算 11,000千円）

### ■目的

自転車の活用により、移動手段を車に頼った生活からの脱却を目指すとともに、まちづくりと市街地の活性化、環境に配慮した継続的な交通手段の提供、住民の健康増進を図る。また、3密を避ける「新しい生活様式」に対応した”新しい公共交通”に資する仕組みとして、Withコロナの状況下においても安全安心な市民の移動サポートを図っていく。

### ■内容・特色

前橋駅を起点とした市内30か所のポートに128台の電動自転車を配置。スマホのアプリでの利用登録により、キャッシュレスで簡単に利用可能。

〈課題〉

- ・利用料収入及びその他収入減の確保（運営委託費の確保）

- ・ポート増設及び自転車の増車（エリアの拡大）

〈進捗状況〉

- ・令和元年度：令和元年11月28日に自転車を活用した新たなまちづくり事業にかかる連携協定を締結。（前橋市、太陽誘電(株)、ブリヂストンサイクル(株)、前橋商工会議所、TOPIC）

- ・令和2年度：太陽誘電(株)より提供され電動自転車100台を活用し、市民モニタリングを2期にわたって実施。そのデータ分析及び結果をシェアサイクル構築へ反映すべく、自転車のまち前橋推進検討会（連携協定締結者+既存レンタサイクル運営事業者2者）を計8回開催し、前橋市において

11月20日プロポーザルにより整備事業者を決定。太陽誘電(株)より電動自転車100台の寄贈を受け、年度内でのシェアサイクル化を実施。

### 福祉医療費支給事業(18歳になる年度までの入院医療費無料化)

(R 3年度当初予算 49,721千円)

#### ■目的

コロナ禍において不安感が蔓延している中、過重負担となる入院医療費の助成を開始することで子育て世帯の負担軽減を図るため。また、高校生等の健全な成長を促進するため。

#### ■内容・特色

高校生世代(16歳になる年度の4月1日から18歳になる年度の3月31日まで)が入院をした際にかかる保険診療の自己負担額及び食事療養費標準負担額を償還払いで助成。なお、高校生のほか、就労している方等も助成対象で、所得制限はなし。

〈課題〉

財源等の見通しが立ってから開始する予定の通院費等を含めた完全実施(全保険診療を助成)をいつから始めるかが課題である。

〈進捗状況〉

「広報まえばし令和3年1月号」、前橋市ホームページ、Facebookにより制度周知を実施。また、制度拡大対象者(高校生世代)には、個別に制度周知通知を送付。

### 〔柏市〕

### フレイル予防事業

(R 3年度当初予算 63,012千円)

#### ■目的

身近な地域でフレイル予防に取り組める体制づくりを進めることで、市民の社会参加を促進する。そのことにより要介護状態になることや重度化することをできるだけ予防し、高齢者が地域の中で安心して生活できるようにするとともに健康寿命の延伸を図る。

#### ■内容

フレイル予防の3つの柱(栄養・運動・社会参加)に基づいた介護予防普及啓発事業の開催。

- ・介護予防センターによる講座開催
- ・平成28年度から、フレイル予防サポーターを養成し、通いの場やサロンにおいて、フレイルチェックを行い、フレイル予防の普及啓発を行っている。
- ・通いの場やサロンに対し、運動や栄養、口腔に関する講師を派遣し、フレイル予防プログラムを提供することで、地域における市民主体のフレイル予防の取組を支援している。

#### ■特色

- ・フレイルチェックにより、自身のフレイル予防の

徴候に気づき、主体的なフレイル予防活動につながる。

- ・フレイル予防サポーターが地域で活動することで、サポーター自身の健康寿命の延伸につながっている。

### かしわフレイル予防ポイント制度事業

(R 3年度当初予算 22,374千円)

#### ■目的

自らの取組や頑張りが「ポイントを貯める」ことで可視化され、市民の継続的なフレイル予防の取組を支援するとともに、介護予防に関心の薄い層などへフレイル予防に取り組む契機となることを通して、健康寿命の延伸を図る。

#### ■内容

気軽に楽しみながら健康づくりに取り組めるように、40歳以上の柏市民を対象として「かしわフレイル予防ポイントカード」を発行し、市が指定する健康づくりやボランティア活動へ参加するとカードにポイントが貯まる。貯まったポイントは、1ポイント1円として電子マネーに変えることで全国のWAON加盟店で食事や買物に使える。ポイントは1年度5,000ポイントを上限に貯められる。

(市が指定する健康づくりやボランティア活動)

- ・メンバーを限定せず、新たに参加を希望されるかたを受け入れることができ、柏市ホームページに活動情報を掲載できること。

- ・ボランティア活動として登録する場合は、金銭の受領(謝礼・交通費など)が無いこと。

#### ■特色

- ・市民が現在行っている活動を継続してもらうこと、多様な活動を増やしていくことで、市民の多様な価値観に対応する。

〈ボランティア活動〉

1時間以上2時間未満 100ポイント

2時間以上 200ポイント

\* 1日200ポイントまで付与

〈活動参加〉

1回20ポイント

\* 1日2事業(40ポイント)まで付与

〈令和2年度実績〉

- ・ポイントカード発行枚数 2,555枚(うち郵便申請31枚)

- ・ポイント付与登録団体数 147団体

### インターネットゲートキーパー事業

(R 3年度当初予算 7,447千円)

#### ■目的

自殺に関する語句(「死にたい」「自殺の方法」他)を検索したハイリスク者に対して、検索結果の上位にメール相談につながるサイトを表示して現実の相談につなげ、自殺を未然に防ぐことを目的とする。

■内容

- ・柏市内で、位置情報が発信された状態で、自殺に関連する言葉をGoogle検索をした方に対し、相談を促す広告を表示する検索連動広告を活用し、相談窓口を表示することで自殺方法などの情報取得から遠ざける。
- ・委託先の専門相談員が、主にメールでの相談によりゲートキーパーとして相談者に寄り添い、話を聞き、希死念慮からの脱却をはかる。
- ・希死念慮が薄れてもなお、自力では解決が難しい問題(困窮、通院、DV他)を抱える方に対して、市役所の担当部署や専門機関の窓口へのつなぎを行う。

■特色

- ・通常、発見する手立てが無い自殺ハイリスク者(希死念慮を持った方)をスクリーニングし、さらにメール相談へとつなげられる可能性がある。
- ・相談者に占める在住在勤者の割合は、近隣自治体の実績において8～9割に上ったという事例があることから、インターネットを活用した事業でありながら、市民に有効に届く施策であると言える。
- ・従来、市の相談窓口や施策につながりにくかった10代～30代の若年層に対し、効果的にアウトリーチできる。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により自殺者数の増加が見られており、外出の制限も続くと思われる状況下であっても、インターネットを活用しているため、自殺の危機にある方に対して相談窓口の情報を提供することが出来る。

**離婚前後親支援事業**

(R3年度当初予算 441千円)

■目的

ひとり親家庭の養育費を確保するため、養育の取り決めに係る公正証書等の作成費用及び養育費保証会社との契約に要する初回契約料を補助するもの。

■内容

- ・養育の取り決めに係る公正証書等の作成費用の補助 1件当たり17,000円(上限)
- ・養育費保証会社との契約に要する初回契約料の補助 1件当たり50,000円(上限)

■特色

養育費の確保を支援することで、ひとり親家庭の経済的自立や子どもの健やかな成長につながる。

**音楽の街かしわの創出**

(R3年度当初予算 4,957千円)

■目的

市民が気軽に音楽に触れ、楽しむことができる機会を拡充し、柏らしさを活かしたまちづくりの推進を行う。

■内容

市内外から「音楽の街」として認識され、様々な文化活動にも良い影響を与え、まちの活性化につなげるため、柏の強みである吹奏楽等を活用した事業を広く展開する。

■特色

柏の強みとなっている文化活動を原動力としながら、音楽全体として市内外に認知・評価されるようアピールしていく。

**〔横須賀市〕**

**福祉コミュニケーションツールの充実  
(福祉コミュニケーション基盤構築事業)**

(R3年度当初予算 592千円)

■内容

- 政策等を必要とする背景及び経緯
  - ・市民ニーズに即したサービスを展開するために、市民と行政のタッチポイントを増やす必要がある。
  - ・誰も一人にさせないまちに向け、福祉サービスが必要なのに、つながらない、つながりにくい人が行政につながりやすくなる取組を実施する必要がある。
- 事業内容
  - (福祉ガイドの作成)
    - ・横須賀市の福祉サービスの全体像をわかりやすく伝える一覧表を作成する。
    - ・配布については、デジタル版を優先する。
    - ・作成の過程において把握された、福祉の施策一覧については、相談対応する職員の支援ツールとして活用する。
  - (福祉に特化したLINEアカウントの運用)
    - ・LINEによる相談を受け付けることで、市民が相談しやすい環境を整備する。
    - ・福祉部アカウントの登録者を確保し、アンケート調査などを実施する。
    - ・調査により、課題の整理、顕在化をすることで、施策の改善又は新たな施策につなげる。
- 将来にわたる事業効果
  - 必要な人が福祉サービスにつながるとともに、市と市民が手軽に関係性を構築することを目指している。
- 事業期間
  - 未定

**ブルーカーボン推進の検討(温暖化対策推進事業費)**

(R3年度当初予算 370千円)

■内容

- 政策等を必要とする背景及び経緯
  - 脱炭素社会(2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ)への移行に向けて、二酸化炭素吸収量により

排出量を相殺するための取組を進める。

令和3年度は、ブルーカーボンを蓄積する仕組み（海で起こる光合成）を二酸化炭素の吸収源として活用していくための検討を行う。

○事業内容

①（仮称）ブルーカーボン推進検討会の設置・開催

市内研究機関、市内企業、市民団体等による検討会を設置・開催し、各主体の知見・情報を共有しながら、事業スキームや具体的事業を検討

②藻類やアマモ類の現況把握

③二酸化炭素吸収量の算定

これまでの研究文献や国・市の既存データ等に基づき算定

④新地球温暖化対策実行計画における吸収源としての取り扱いについての検討

○将来にわたる事業効果

①二酸化炭素排出量を吸収量により相殺することで、2050年までに排出量「実質ゼロ」の実現を推進することができる。

②市内研究機関、市内企業、市民団体等との連携・協力により地域全体での取組を進めることができ、「海洋都市 横須賀」を発信することができる。

○事業期間

未定

**ナラ枯れ対策の支援**

**緑化推進費（ナラ枯れ対策支援事業）**

（R3年度当初予算 2,000千円）

■内容

○政策等を必要とする背景及び経緯

現在、市内の樹林地においてブナ科の樹木にカシノナガキクイムシが媒介するナラ菌により引き起こされる「ナラ枯れ」の被害が急激に拡大している。このナラ枯れ被害木のなかには、倒木により周囲の住居や道路に危険をもたらす可能性を有するものがあるが、処理費用が高額なため、被害木の所有者が対策に踏み切れないケースもあるため、その処理を促進する必要がある。

○事業内容

・対象者

ナラ枯れ被害木により自ら被害を受け、又は、周囲に被害を与える可能性がある土地所有者、及び、被害を受ける可能性のある隣接土地所有者等

・対象樹木

自己及び隣接土地所有者等に家屋の損傷等被害が生じる可能性のある樹木（隣接地の被害については、境界からの距離制限を設ける。）

・対象経費等

ナラ枯れ被害木の処理（伐倒・破砕）に要する経費について、年度1回の申請で上限20万円まで

補助（この上限内であれば本数に制限は設けない。）

○将来にわたる事業効果

被害木に隣接する住居や道路利用者の安全・安心が確保できる。

○事業期間

令和3年度～令和5年度

**〔富山市〕**

**とやまシティラボ推進事業**

（R3年度当初予算 17,236千円）

■目的

市域全体を”ラボ（実験室）”に見立て、市内の産学官民が立場を越えて対話を重ね、未来のビジョンを共に描き、共有した上で、ビジョンからのバックキャストで地域課題を明確化し、実証と試行を通じて新たな価値を創造する「未来共創」\*を推進する。

※「未来共創」…①オープンイノベーション、②スマートシティ、③関係人口拡大、という3つのテーマに基づき推進しており、推進方針としては、①デジタルデータ・テクノロジーの積極的な活用、②わかもの・よそものへの積極的な機会提供、③トライ&エラーのできる環境づくり、としている。

また、富山市ではLPWAのセンサーネットワークを居住エリアの98.9%をカバーする形で整備しており、継続してリビングデータを収集できる環境があることから、共創施設である「Sketch Lab」と連動させることで「テストベッド」としての強みを生かし、デジタル社会を見据えた価値創造につなげていきたいと考えている。

■概要

20～40代の市内若手経営者・起業家を中心に構成する官民連携組織「とやま未来共創チーム」（下記「特色」欄参照）が主体となり、富山市が富山駅前CICビルの市有施設内に整備した共創スペース「Sketch Lab（スケッチラボ）」を拠点として新たなビジネスの創出や地域課題の解決に取り組むもの。

■特色

「とやま未来共創チーム」のメンバーと事務局を担う富山市が連携しながら「Sketch Lab（スケッチラボ）」の効果的な活用促進に取り組んでおり、メンバーの柔軟な発想やアイデアを活かしたプログラム（セミナー、交流イベント、共創ワークショップ）等を展開し、価値創造につなげるべくビジネス交流を促進している。

■事業計画

・「未来共創」の推進に資するプログラム及びプロジェクトの実施（通年）

・とやま未来共創会議の開催（主催：富山市）（令和3年8月～12月）

## 歩くライフスタイル推進事業

(R3年度当初予算 14,209千円)

### ■目的

市民生活において、過度に車に依存したライフスタイルから日常的に歩くライフスタイルへの転換を促す「とほ活」※に取り組むことで市民の健康の維持・増進を図るとともに、まちの賑わいづくりや公共交通の利用促進につなげるもの。

※「とほ活」…富山で歩く生活をイメージしたもので、歩くライフスタイルを広く市民に促していくためのキャッチコピーとして作成。

### ■概要

- 1 歩くライフスタイル普及啓発  
バナーフラッグ掲出、TV番組の放映等
- 2 「とほ活」スマートフォンアプリの運用  
「とほ活」アプリ上で、歩数・イベント参加・公共交通利用に応じポイントを付与し、貯まったポイントに応じた賞品を抽選で贈呈。
- 3 「まちなかノルディックウォーキング」の実施  
(月2回、年20回)
- 4 歩くライフスタイル戦略連絡会議の開催  
歩く施策の進捗・効果等を一元的に管理・把握するための庁内連絡会議
- 5 SWC(スマートウェルネスシティ)首長研究会等での情報収集

### ■特色

歩くライフスタイルの推進を、まちづくりの観点(賑わい創出、公共交通の利用促進)を主軸に推進しており、アプリを使った「まちなか」でのラリーを実施するなど、まちなかの賑わい創出の仕掛けとして運用している。

### ■事業計画

令和3年度は「とほ活」アプリの機能拡張(歩数に応じたランキング機能等)を予定。

### ■その他

「とほ活」アプリについては、令和元年11月のリリース後3か月に、当初目標の利用者数4,000人を突破、令和3年3月時点では8,500人以上が利用。

## 大規模災害被災地支援事業

(R3年度当初予算 10,000千円)

### ■目的

大規模な災害により被災した市町村等に対し、支援物資や資機材等の提供や応急対策等に従事する職員の派遣などの初動支援を積極的に行うもの。

### ■概要

支援条例に基づき、相互応援協定を締結している市町村などに積極的に職員を派遣し、迅速かつ効果的な初動の支援を行う。

支援内容は、

- ①支援物資や資機材の提供又は貸与

②応急対策等に従事する職員の派遣

③その他市長が特に必要と認めるものなどである。

### ■特色

近年、大規模な災害が各地で毎年のように発生しているが、災害発生時には地元自治体職員も被災する中、通常業務に加え、避難所運営や家屋の被害調査、罹災証明書の発行など、様々な災害業務を行わなければならない、必要な職員の確保が問題となる。

また、職員が迅速で的確な災害対応を行うには、「経験」が何よりも重要となるが、幸いにも富山市はこれまで災害が少ないため、災害対応の経験職員が極端に少ないのが現状である。

このことから、支援条例により、なるべく多くの職員に災害対応の経験を積ませ、防災意識の高揚を図ることにより、富山市が被災した際に即戦力になることを期待するとともに、市民に対する防災の啓発に繋がることを大きな目的とするものでもある。

### ■事業計画

令和3年度：2都市(予定)

## 〔金沢市〕

### 金沢未来のまち創造館費

(R3年度当初予算 113,869千円)

### ■概要

- 金沢未来のまち創造館管理運営費
  - ・最先端技術を活用した新たなビジネスや食・工芸の付加価値の創出と子どもたちの独創力の育成を図るため、金沢未来のまち創造館を開設(8月開館予定)
- スタートアップ・新ビジネス創出事業費
  - ・最先端技術を活用した新たなビジネスを展開する者や食・工芸に付加価値を生み出す者を支援し、スタートアップや新ビジネスを創出

### 木の文化都市・金沢創出事業費

(R3年度当初予算 12,600千円)

### ■概要

- 木の文化都市・金沢創出事業費
  - ・金沢の建築構造の基本である「木」にこだわったまちづくりを推進、創出
- 未来のまちづくり建築家育成事業費
  - ・学生団体が木を活用したまちづくりを提案するコンペティションを開催

### 子育て支援施策

(R3年度当初予算 18,401,532千円)

### ■概要

- ※こども未来局を新設し、子育て支援策の充実を図るとともに、体制を強化
- 保育所等運営費

- ・保護者の所得及び同時入所にかかる要件を撤廃し、第2子の保育料を半額、第3子以降の保育料を無料化
- 児童クラブ費
  - ・平日の開所時間を延長する児童クラブや病児一時保育を実施する施設への支援を充実
- 養育費確保サポート事業費
  - ・弁護士資格を有する職員を新たに配置し、子育てに関する相談体制を充実
- 児童相談所費
  - ・児童虐待の防止に向けて児童福祉司を増員し、相談支援体制を充実

### 学生のまち金沢推進費

(R3年度当初予算 31,239千円)

#### ■概要

- 学生のまちなか居住・地域活動促進事業費
  - ・学生のまちなか居住を奨励し、地域活動等への参加を促進
- 学生まちづくりプログラム事業費
  - ・首都圏在学の学生と市内在学の学生が連携し、地域課題の解決に向けた方策を提案

### デジタル戦略推進費

(R3年度当初予算 241,234千円)

#### ■概要

- 金沢市デジタル戦略推進費
  - ・産官学連携による「金沢市デジタル・トランスフォーメーション(DX)会議」の設置
- ICT活用推進費
  - ・電子申請システムに電子決裁を導入し、行政手続きのオンライン化を拡大

### 〔福井市〕

### ふくいプロモーション事業

(R3年度当初予算 55,128千円)

#### ■概要

福井の認知度向上とイメージアップを図るため、戦略的かつ効果的な情報発信を行う

#### ■内容

- (1)福井イメージ戦略
  - イメージロゴ「福いいネ！」を活用したプロモーションの実施
    - ・PRグッズの制作
    - ・イメージ動画の制作、放映
    - ・SNSによる情報発信
- (2)観光プロモーションの強化
  - ・公式ポータルサイト、SNSサイトの運用
  - ・観光PR動画の制作、Web広告配信
- (3)福井ジェニック創出・PR
  - ・若年層の旅行ニーズやSNSの利用を喚起さ

せる、福井ならではの写真映えする食のPRを実施

#### ■特色

北陸新幹線福井開業を見据え、誘客拡大のため観光プロモーションを強化する

### バーチャル文化芸術祭事業

(R3年度当初予算 1,000千円)

#### ■概要

次代の担い手を育成し文化芸術活動を推進する

#### ■内容

テーマに沿った文化芸術(音楽、ダンスなど)の動画を募集し、インターネットサイトで公開して、入賞作品を選考し表彰

#### ■特色

誰でも参加できる文化芸術の発表の場をウェブ上に設ける

### 教職員等勤務状況デジタル化事業

(R3年度当初予算 32,000千円)

#### ■概要

教職員の長時間勤務の改善及び健康・福祉を確保し、学校教育の水準の維持向上を図る

#### ■内容

- ・出退勤システム・クラウド環境構築
- ・システム用端末機器の整備

#### ■特色

教職員の勤務状況を客観的に把握するシステムの導入

### 〔甲府市〕

### おしろらんど(子ども運動遊び事業)

(R3年度当初予算 50,666千円)

#### ■概要

子どもたちが遊びながら運動能力の向上に繋がる新たな拠点「子ども屋内運動遊び場」を設置した。

#### ■内容

子どもたちが幼児期の成長に必要な36の基本的な動きを、遊びながら自然とできるように促すことにより、子どもの運動能力の向上に繋げる。

- (1)オープン：令和3年4月24日(土)
- (2)遊び場を利用できる者
  - ア 小学生以下の子どもとその保護者
  - イ 子ども10人以上とその保護者等で構成する団体(平日に限る。)
- (3)休館日
  - ア 火曜日
    - (その日が休日(国民の祝日に関する法律に規定する休日)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日)
  - イ 12月29日から翌年1月1日まで

(4)開館時間

ア 開館時間は、午前9時30分から午後6時までとする。

イ 利用時間は、次に掲げるとおり。

- ・第1クール 午前10時から午前11時30分まで
- ・第2クール 午後0時から午後1時30分まで
- ・第3クール 午後2時から午後3時30分まで
- ・第4クール 午後4時から午後5時30分まで

■特色

- ・施設内は、年齢別・機能別のゾーニングにより、楽しさと安全性を確保している。
- ・子どもの様子をよく観察しながら、子どもの「やってみよう」という意欲を引き出し、遊びを誘発する大切な役割を担うプレイリーダーを配置している。

〔長野市〕

**オリンピック・パラリンピックムーブメント促進事業**

(R3年度当初予算 2,303千円)

■概要

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の期間中、大型スクリーンを利用した競技中継や各種競技体験等を通じて、大会の感動と興奮を共有し、オリンピック・パラリンピック開催都市として、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進する

■内容

- ・東京2020大会開幕前夜祭 (2,961千円)  
開催日：令和3年7月22日(木・祝)  
場 所：善光寺  
内 容：獅子舞、復興花火等
- ・東京2020オリンピック開会式コミュニティライブサイト (14,566千円)  
開催日：令和3年7月23日(金・祝)  
場 所：セントラルスクウェア  
内 容：ステージイベント(著名人の招聘、市民による文化芸術発表)、世界記録展示、オリパラグッズ販売、ピンバッジ展示等
- ・東京2020パラリンピックコミュニティライブサイト (1,792千円)  
開催日：令和3年8月29日(日)  
場 所：ホワイトリング  
内 容：パラ★スポーツデーとの併催、パラリンピアントークショー等
- ・東京2020大会パブリックビューイング (1,754千円)  
開催日：オリンピック・パラリンピック開催期間中2回  
場 所：芸術館等

内 容：日本戦の観戦、会場装飾、プロチーム・元日本代表選手等による解説等  
・2022北京オリンピック・パラリンピック冬季競技大会パブリックビューイング (1,957千円)

開催日：オリンピック・パラリンピック開催期間中3回

場 所：芸術館等

内 容：日本選手出場競技観戦、会場装飾、元日本代表選手等による解説等

■特色

東京2020大会だけでなく、2022北京大会のパブリックビューイングも開催すること

**AI等先進技術活用事業**

(R3年度当初予算 30,655千円)

■概要

AI関連の様々なデジタル技術をより積極的に導入し、活用していくことで、市民サービスの向上と業務の効率化を図り、行政のデジタル・トランスフォーメーション(DX)を実現する。

■内容

- 新規事業  
AIチャットボットの導入  
AI等のデジタル技術を活用した介護認定業務の効率化
- 拡大事業  
AI-OCR・RPAの活用拡大
- 継続事業  
AI音声認識文字起こしサービスの利用

■特色

生活様式の変化に伴い、複雑・多様化する市民ニーズを踏まえた、質の高い行政サービスを提供していく必要がある中で、積極的に行政DXを推進し、市民が利便性と暮らしやすさを実感できる社会を実現するとともに、業務の効率化を図り、職員の働き方改革につなげていくことができる。

**善光寺御開帳2022関連事業**

(R3年度当初予算 14,277千円)

■概要

2022年(令和4年)の善光寺御開帳の期間中、文化芸術を中心とした「日本一の門前町大縁日」を開催し、「まちのにぎわい」を創出するとともに、市民の文化芸術活動の推進とまちの魅力の向上を図る。

■内容

- 事業実施主体である「日本一の門前町大縁日実行委員会」への負担金支出
- 「日本一の門前町大縁日」の概要(基本計画)
  - ・基本方針…にぎわいづくり、市民参加
  - ・キャッチフレーズ…善光寺御開帳2022日本一の門前町大縁日

- ・期間…令和4年4月2日(土)～5月29日(日)
- ※期間中、土日祝日を中心に「にぎわいイベント」を実施
- ・場所…善光寺表参道(中央通り)、セントラルスクウェア、TOiGO広場、長野駅前広場、その他
- ・実施事業…にぎわいイベントの実施、にぎわい空間の演出等
- ・実施主体…長野市、日本一の門前町大縁日実行委員会 (R2.2.10設立)

○令和3年度事業

- ・実行委員会…実施計画の策定、本番に向けた空間演出、広報宣伝、イベントの実施
- ・長野市…文化芸術イベントの実施(表参道芸術音楽祭、ながの獅子舞フェスティバルなど)

■特色

善光寺御開帳にあわせ、市民参加による文化芸術プログラムを中心としたイベントを実施する。(同大縁日は、前回、H27年の善光寺御開帳において初めて開催され、街のにぎわい創出に大いに貢献した。) 令和3年度は、1年前や半年前などの節目でイベントを実施し、新型コロナにより落ち込んだ街のにぎわい回復(創出)と、翌年の善光寺御開帳に向けた機運の醸成を図る。

**ながのジビエ普及促進事業**

(R3年度当初予算 9,100千円)

■概要

一般的には美味しくないとされている”ジビエ”をりんごやそば”等のように長野市を印象づける”食”の一つとして育てていくとともに、まずは市内への普及促進につなげる。また、新たな地域資源となりうる“ジビエ”というツールを活かして中山間地域の活性化や市内への誘客にもつなげて、元気で活力ある郷土の創造を図る。

■内容

- (1)全国的に有名な施設でのジビエ活用の実現につながるための取組として、まずは、その施設のシェフにジビエと地域発祥食材を使った料理のメニュー開発支援や新たにジビエ料理に取り組む市内飲食店に対し遠隔指導をお願いする等、市内へのジビエ普及促進につなげる。
- (2)長野市版セントラルキッチン企業とジビエストック量等の情報交換やマーケットニーズを聞き取りながら、改めてジビエ規格等を検討するとともに、市指定管理施設等への販路の確立につなげる取組の実施。
- (3)ジビエを長野市から長野圏域等に広く発信していくために、【仮称】ジビエ街道プロジェクトの実施。

■特色

令和元年度から長野市ジビエ加工センターの運営が始まり、「国産ジビエ認証」及び「信州産シカ肉処理施設認証」を取得後、令和元年10月から主に市内食品加工事業者向けに食肉用ジビエの販売を開始した。

令和3年度から、更なる市内へのジビエ普及促進を図っていくもの。

**「川中島の戦い」博物館常設展示室整備事業**

(R3年度当初予算 85,500千円)

■概要

ポストコロナ社会を見据えた周遊と集客を目指して、善光寺御開帳に合わせ、市立博物館内に「川中島の戦い」に関する常設の展示コーナーを設置する。

■内容

特別展示室の約150㎡を利用し

- ・プロジェクションマッピング(非接触型展示)
- ・デジタル屏風映像制作
- ・空調管理機能付展示ケース3台設置

による展示を行う。

また、雰囲気盛り上げるため展示室アプローチに陣幕装飾を行う。

■特色

- ・「川中島の戦い」の概要やその背景、首塚や「塩を送る」などその後のストーリーまでも含め、プロジェクションマッピングによって分かりやすい「ガイダンス的」な展示を行う。
  - ・佐藤博物館資料を活用し「川中島の戦い」に関する本物の資料を展示公開する。
- 以上二つを目玉として集客を目指す。

**〔岐阜市〕**

**庁舎跡活用事業**

(R3年度当初予算 13,479千円)

■目的

- ・令和2年度に、新庁舎への移転に伴う本庁舎及び南庁舎跡の活用に向けた岐阜市の基本的な考え方を示す『岐阜市庁舎跡活用基本構想』を策定。
- ・『基本構想』に基づき、民間活力の活用による庁舎跡の活用を図る。

■概要

・『基本構想』では、「庁舎跡の活用に向けた基本的な考え方」のもと、本庁舎跡、南庁舎跡それぞれの活用方針を示しており、その中で、コンセプトや導入機能などとともに、庁舎跡を効果的・効率的に活用するため、民間活力の最大限の活用を図ることとしている。

・『基本構想』に基づき、庁舎跡を活用する民間事業者等の募集に向けた募集条件等を定めた募集要

項を検討・作成し、募集を行い、民間活力の活用による庁舎跡の活用を図る。

### キャッシュレス決済を活用した地域経済活性化事業（コロナ対策）

（R 3 年度当初予算 615,000千円）

#### ■目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、小売業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業など様々な分野で売り上げの減少など、大きな影響を受けている。

そのため、市民をはじめ、市外からお越しの方も市内対象店舗でQRコードによりキャッシュレス決済を利用した場合に、その利用額の一定割合をポイント還元することで、個人消費を喚起し、岐阜市の経済の活性化を図る。

#### ■概要

令和3年5月6日から6月6日までの期間に岐阜市全域の店舗において、「PayPay」、「au PAY」、「d払い」の3種類のアプリによるキャッシュレス決済を利用した市民等に対し、還元率最大20%、1回の利用で最大1,000円相当、期間中最大10,000円相当が付与される。

また、本キャンペーンにあわせて、市民を対象としたスマホ教室を各キャッシュレス決済事業者が実施し、スマートフォンや当該アプリの操作について案内する。

### 高島屋南地区公共施設整備事業（子育て支援施設）

（R 3 年度当初予算 623,470千円）

#### ■目的

柳ヶ瀬の「活性化」及び「にぎわい創出」を目標に進められている高島屋南地区市街地再開発事業の実現のため、再開発ビルの保留床を取得し、子育て支援施設の整備を行うもの。

#### ■概要

＜施設内容＞

##### ①子どもの支援

- ・遊びを通じた体力の育成：幼児～小学生の遊び場（アスレチック、ネット遊具など）
- ・豊かな想像力・感性の育成：同上（ものづくり、着せ替え体験など）
- ・社会性や自主性の育成：乳幼児の遊び場

##### ②子育て家庭の支援

- ・子育て相談、一時預かり、研修室など

＜スケジュール＞

- H26 基本構想の策定（8月）
- H27 基本計画の策定（H28.3月）
- H29 基本設計の完了（5月）
- R 2 実施設計の完了、管理運営計画の策定

R 2～4 保留床購入費の支払

R 3～4 工事、完成

### 岐阜公園再整備事業

（R 3 年度当初予算 124,300千円）

#### ■目的

岐阜公園が持つ信長公居館跡などの歴史的価値と金華山・長良川などの自然環境を活かし、信長公をテーマとする歴史公園として再整備を行い、本物志向の観光まちづくりを推進する。

#### ■概要

信長公居館跡等の歴史的価値を伝えるとともに、憩い・学習・交流等の拠点となる本格的な歴史公園へと再整備する。

- ①信長公が活躍した戦国時代の歴史的価値の顕在化
- ②歴史的価値を学習するための施設整備
- ③近代の歴史的資産や自然と調和した都市公園としての整備

### 教職員の多忙解消事業

（R 3 年度当初予算 9,526千円）

#### ■目的

学校業務改革を的確かつ効果的に推進することによって、教職員が心身の健康を維持しつつ、自らの資質や能力を高める研鑽等の時間を確保することができ、子どもたちとより深く向き合い、効果的な教育活動を行える勤務環境を実現する。

#### ■概要

「学校の健康診断」を実施し、学校ごとに、総合評価、組織風土、改善すべき業務ランキング、業務改革の目標値等を分析、見える化を図る。各校においては、健康診断結果をもとに、校内教職員の対話を通して行動計画を策定し、多忙化解消に取り組む。行動計画の実践推進において、定期的にモニタリングを行い、好事例などのアイデアや他校の実践例を紹介し、提供していく。

また、教育委員会内で横断的に多忙化解消推進協議会を設置し、岐阜市全体での課題や教育委員会内の業務負担解消提言に取り組む。

ストレスチェックを行い、「学校の健康診断」とのクロス調査を行い、多角的に学校や教職員の実態分析を行う。

### 〔豊田市〕

### SIBを活用した社会参加型介護予防事業

（R 3 年度当初予算 70,800千円）

#### ■概要

官民連携の仕組みの一つである“成果連動型委託契約（ソーシャル・インパクト・ボンド）”を活用し、民間の創意工夫に基づいた介護予防事業を展開する。

**■内容**

- ・65歳以上の高齢者を対象に、社会活動量を増やす“オンライン”や“三密を避けたオフライン（対面）”でのプログラムを提供。
- ・提供されるプログラムについては、5～15種類を想定（有料・無料の両方を想定）
- ・プログラムについては、1回だけの“参加”に止まらず、“継続”につながるプログラムを重点的に展開（目標：参加者数 5,000人／年、継続者数 3,500人／年）

**■特色**

委託費の支払いについて、SIBと呼ばれる成果連動型の委託契約を活用し、行政コストの削減と民間の創意工夫を引き出すことを両立できる仕組みになっていること。

**〔大津市〕****持ち運べる大津市役所の実現**

（R3年度当初予算 2,108千円）

**■概要**

大津市LINE公式アカウントのメニュー数拡充や電子申請サービス充実のためのHP改修等を行い、市民がLINEから様々な行政サービスを利用可能とする。

**■内容**

- 4月～6月…HP改修、LINEメニュー数の拡充、メッセージ配信機能追加
- 7月…運用開始（予定）

**産後ケア**

（R3年度当初予算 2,898千円）

**■概要**

産後の身体的、精神的に不安定な時期に、心身のケアや育児のサポート等を行い、安心して子育てができる支援体制を確保する。

**■内容**

令和3年4月1日から短期入所型、通所型、居宅訪問型開始。市民には大津市ホームページの他、母子健康手帳交付時、新生児訪問時や出産した医療機関等を通じて案内する。

**子どもの居場所づくり**

（R3年度当初予算 5,320千円）

**■概要**

子どもが安全・安心でいられる居場所をつくるため、個別や集団での学習支援等を実施する昼間の居場所づくり事業と夜のトワイライトステイ事業と統合して実施。

**■内容**

- 1月～2月…業者選定
- 4月…契約、事業開始

**学校夢づくりプロジェクト**

（R3年度当初予算 13,100千円）

**■概要**

子どもたちの思いをもとに、地域・学校が力を合わせて創意工夫を凝らした夢のあるプロジェクトに取組、児童生徒が主体的に学び、心豊かに生きていくことができる力の育成を目指す。

**■内容**

- 6月中旬まで…各学校においてプロジェクトを検討し、計画書及び予算書を提出
- 7月以降…予算を学校に配当し、計画書に基づき事業実施

**eスポーツフェスティバルの開催**

（R3年度当初予算 1,650千円）

**■概要**

ブランチ大津京にて、市民参加型のeスポーツイベントを開催し、参加者同士のコミュニケーション促進や地元企業を巻き込んだ魅力発信により、地域の活性化を図る。

**■内容**

- 4月～7月…企画検討
- 8月予定…小規模イベント開催
- 10月予定…大規模イベント開催
- 3月予定…大規模イベント開催

**〔豊中市〕****児童生徒応援給付金給付事業**

（R3年度当初予算 264,321千円）

**■目的**

長引くコロナ禍による生活困窮の影響は成長期の子どもにも及んでおり、令和3年度についても小学生・中学生・高校生を持つ住民税非課税世帯や収入が激減した世帯では、子どもに対する経済的支援が十分にできないことが懸念される。そこで、未来の豊中を担う子どもたちが本来目指していた目標や将来の夢、様々な体験の機会を諦めてしまうことが無いよう授業料以外の教育費を経済的に支援する。

**■内容・特色**

- ①住民税非課税
  - ②家計の急変により令和3年1月以降の所得が非課税に相当すると認められる
- 令和3年度に上記①②に該当する人に扶養されている小学校から高校までに在学する人、一人につき5万円を支給。

**保育施設等利用子育て世帯への副食費給付金**

(R 3 年度当初予算 53,110千円)

**■目的**

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少など困難な生活を余儀なくされている保育施設等利用世帯に対して、副食費相当額を給付する。

**■内容・特色**

対象：副食費を負担している児童（3～5歳児クラス）で保育料第4階層（市民税所得割額97,000円未満。第1～3階層と第4Aの一部は現行制度による免除あり。）

給付額：児童一人につき月額4,500円を最長12か月分給付。

**妊産婦向けタクシー利用支援事業**

(R 3 年度当初予算 87,439千円)

**■目的**

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、多くの方が乗車する電車・バス等ではなく、タクシーを利用することで安心して外出ができるようタクシー乗車券を配付し、妊産婦の方の移動支援を行う。

**■内容・特色**

市内在住で、妊婦特別応援事業においてギフトカードを配付した期間以降の令和2年4月28日から令和4年3月31日の間に妊娠された方を対象に、申請いただいた方に対して大阪タクシー共通乗車券1万円分を配付する。妊産婦の方が通院や買物などにおいて自宅から直接目的地まで移動でき、外出時の負担軽減となるほか、コロナ禍で減収したタクシー事業者への経済対策としての効果も期待できる。

**重層的支援体制整備事業（各地域包括支援センターへの認知症地域支援推進員の配置）**

(R 3 年度当初予算 26,640千円)

**■目的**

第8期介護保険事業計画の中でも、認知症施策は重点事項に挙がっている。各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し7名（令和2年度までは1名）とすることで、認知症支援体制の強化を図る。

**■内容・特色**

認知症に関する地域資源の開発や認知症支援に携わる支援者のケア力向上等に取り組む。各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置することで、生活圏域の特色に応じた資源やネットワークの構築を進める。

**医療的ケア児支援事業**

(R 3 年度当初予算 78,657千円)

**■目的**

市立小・中学校における医療的ケア児支援事業の安定的かつ継続的な実施。

**■内容・特色**

市立豊中病院に所属する看護師を医療的ケアを必要とする児童・生徒の在籍する市立小・中学校へ派遣する。

**〔枚方市〕****待機児童対策の推進**

(R 3 年度当初予算 1,016,633千円)

**■概要**

仕事と子育ての両立を支援するため、保育所等の待機児童対策については、引き続き私立保育所（園）の増改築等を行うほか、一時預かり保育事業を実施する私立保育所（園）において、就労応援型預かり保育を実施する。また、育児休業明けや転入など年度途中の保育需要に対応するため、令和3年秋頃にさだ西幼稚園跡施設を活用した「待機児童用保育室」を開設する。

**子どもの見守り体制強化**

(R 3 年度当初予算 15,868千円)

**■概要**

各部署がそれぞれ業務システム等で管理している子どもやその家庭に関する情報を集約・活用し、課題の早期発見や予防的支援につなげていくため、子ども見守りシステムを構築する。

**ICTを活用した授業の推進**

(R 3 年度当初予算 795,368千円)

**■概要**

全児童・生徒、教職員に1人1台配備したタブレット端末を学習活動において有効に活用するとともに、教職員のICT活用を促進するため、ICTサポート員による支援を充実させる。また、小学校3・4年生用副読本「わたしたちのまち枚方」をデジタルデータベース化し、動画等の資料を活用する。

**枚方市駅周辺の再整備**

(R 3 年度当初予算 2,583,710千円)

**■概要**

枚方市駅周辺再整備ビジョンを進める中で、枚方市駅周辺地区市街地再開発事業（3街区）について既存施設の解体や建築工事を着実に進められるよう支援するとともに、枚方市駅前行政サービスの再編に向けた内装設計を実施する。また、エリアマネジメントの仕組みの導入を促進するための公民連携による社会実験等や枚方市駅周辺の交通環境の改善に

に向けた取組を進める。

## 総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信

(R3年度当初予算 1,528,135千円)

### ■概要

令和3年度の開館に向けて、引き続き整備を進めるとともに、大阪フィルハーモニー交響楽団の公演のほか、魅力的で多彩なラインナップの事業をオープンガイヤー企画として一年を通して取り組む。また、指定管理者制度を導入し、枚方市の文化芸術の振興を図るとともに人々の交流の促進や都市の魅力向上に寄与する拠点として運営する。

### 〔東大阪市〕

## 郊外型シェアオフィス整備支援事業

(R3年度当初予算 75,000千円)

### ■目的

新型コロナウイルス感染症の影響によりテレワークなど新たな働き方が全国的に広がるなか、都心はもとより郊外においてもこれらに対応した新たな働く場の需要が高まっている。また、布施駅前に立地するヴェル・ノール布施は交通利便性が高いことや商業施設等を併設していることから、需要の高まりと建物の立地や特長を活かすことにより、新たな働く場の受け皿としてヴェル・ノール布施に新たな人の流れを生むことが期待できるため、テレワークルームやコワーキングスペースなどの環境整備を支援するもの。

### ■内容・特色

ヴェル・ノール布施の3階区画においては、東大阪再開発株式会社がテレワークに対応したコワーキングスペース、ミーティングルームなどを含むシェアオフィスの整備を行い、シェアオフィスの企画・運営は、東大阪再開発株式会社から民間シェアオフィス等企画運営代行事業者へ業務委託を行う。それら事業は、新型コロナウイルス関連予算を活用することにより東大阪再開発株式会社の自立支援も行うもの。

## 電子書籍購入経費

(R3年度当初予算 55,000千円)

### ■目的

電子図書館用の書籍の充実を図ることで、魅力的な電子図書館を提供し、多くの方の利用につなげるもの。

### ■内容・特色

利用者の関心が高くなることが期待できる電子図書館の開始時に合わせて、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、電子図書館用の書籍を購入することで、電子図書館のラインナップ

の充実を図る。なお、令和3年度からの指定管理者選定における仕様書の中で、電子図書館サービスを新たな業務として挙げ提案を受けた結果、次期指定管理者（株式会社図書館流通センター）が提供する「LibrariE&TRC-DL」という電子図書館システムを令和3年4月から導入することとなった。当該システムは、24時間365日利用が可能で、専用のアプリやソフトウェアをインストールすることなく、利用者のパソコンやスマートフォン等インターネットに接続できるものであれば手軽に利用できるものである。また、「障害者差別解消法」や「読書バリアフリー法」の趣旨に基づき、視覚に障害を持った方でも独力で電子書籍を選択し、閲覧・貸出等が行える等の機能も備えている。なお、現在、当該システムは電子図書館を導入している公共図書館の9割弱で採用されていることから、今後、当該システムを活用したコンテンツの充実が図られることが期待できる。

## 統合型発信ツール経費

(R3年度当初予算 4,859千円)

### ■目的

市公式LINEアカウントを開設・運用することにより、市政情報や緊急情報などを市内外の人々に素早く広く発信することや、利用者一人ひとりのニーズに合わせた発信が可能となる。当該ツールを用いて市民や利用者の利便性の向上を図り、市への理解・関心を高めてもらうことを目的とする。

### ■内容・特色

市公式LINEアカウントにおいて利用者に、「子育て」「イベント」「ごみ」「防災」などの欲しい情報を予め設定してもらうことで、必要な情報のみを受信できるセグメント配信を行う。さらに、チャットボット機能を導入することで、利用者が気軽に質問することができ、簡単に必要な情報にたどり着くようにする。また、道路や公園、河川など、市民から危険箇所をお知らせいただく発信機能も活用し、利便性の向上を図る。

### 〔尼崎市〕

## 中学校給食の開始

(R3年度当初予算 3,688,555千円)

### ■概要

成長期にある生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスの取れた給食を提供することにより、健康の保持増進、体位の向上を図るとともに、学校給食を食育の教材として活用しながら食育の推進に取り組むことにより、食生活に対する正しい理解と望ましい食習慣を身につけることを目指す。

### ■内容・特色

学校給食センター（若草中跡地に建設中。令和4

年1月開始予定。)から全中学校に給食を届ける。  
 ・集中的な衛生管理による安全・安心な学校給食の提供  
 ・栄養バランスのとれた給食を適温で提供  
 ・旬の食材や地域の食材など多様な食材を使用した、おいしい給食の提供  
 栄養バランスや食育を考慮した給食  
 ・旬の食材を使用  
 ・毎日温かいご飯を提供  
 令和3年度から給食費は公会計方式とし、徴収・管理等は市が担う。

**(仮称) 尼崎市保育士・保育所支援センター  
 一設置運営事業**

(R3年度当初予算 4,020千円)

**■概要**

保育士を安定的に確保し、保育施設における待機児童の解消を図るため、新卒保育士、潜在保育士、休眠保育士の就職支援や、保育所等への保育士の雇用支援、市内で働く保育士に対する相談支援などを行う「(仮称) 尼崎市保育士・保育所支援センター」を設置する。

**■内容・特色**

<支援コンセプト>

保育士を目指すあなた！保育士として働くあなたの気持ちに寄り添いながら、応援します！

- ①就職を希望する人からの相談を受付
  - ・専用システムによる24時間 求職登録受付 (R3.10～)
  - ・求職登録者とのヒアリング
- ↓
- ②保育施設への面接・施設見学の支援  
(専任コーディネーターによる仲介支援等)
- ↓
- ③就職
- ↓
- ④就職後のアフターフォロー
  - ・関係機関との連携、既存事業による継続支援等の更なる充実

**児童相談所設置準備事業**

(R3年度当初予算 1,122千円)

**■概要**

児童福祉法第12条に規定される児童相談所の設置に向け、子ども家庭総合支援拠点である「いくしあ」と一体的かつ効果的・効率的な児童相談所の運営を図れるよう、人材確保・人材育成、体制・機能及び施設整備等の検討・準備を行う。

**■内容・特色**

尼崎市として児童相談所を設置するにあたり、設置時期をはじめ、設置に必要な項目について検討及

び準備を進める。

(主な取組項目)

- 人材確保・人材育成  
 児童相談所の運営に必要な専門職を計画的に採用・育成する。(県児童相談所(西宮こども家庭センター等)への派遣等)
- 体制・機能  
 子どもの育ち支援センター「いくしあ」と連携し、一体的かつ効果的・効率的な支援ができる体制を整備する。
- 施設整備  
 子どもの安全・安心が確保できるよう、事務所及び一時保護所の施設整備に向けた検討を行う。

**子どものための権利擁護委員会運営事業**

(R3年度当初予算 3,798千円)

**■概要**

子どもの権利擁護を目的とし、関係機関及び関係者との調整や行政機関等の制度改善に向けた提言等を行う機関として、学校現場を含む行政機関からの独立性と専門性を有する付属機関「尼崎市子どものための権利擁護委員会」を設置・運営する。

**■内容・特色**

- ・学校等におけるいじめや体罰、家庭内における虐待等、社会における子どもの権利が侵害された状態等の解消及び未然防止を図る。
- ・子どもの声を聴き、児童の権利に関する条約に規定された権利を保障する。
  - 調査・調整機能  
 子どもの権利に関する事項について、権利救済の申立及び相談を受けたときは、必要に応じて市の機関等に対して、調査及び是正勧告並びに関係者間の調整を行う。
  - 提言機能  
 子どもの権利擁護及び権利侵害の防止のため、必要な提言を市の機関等に対して行う。
  - 広報・研修機能  
 子どもの権利を擁護するため、児童の権利に関する条約の理解を深めるための広報及び研修を行い、子どもがまちづくりに参画できる環境づくりを行う。

**要保護・要支援児童等見守り強化事業**

(R3年度当初予算 58,338千円)

**■概要**

新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まっていることから、要保護児童対策地域協議会が中核となって、子ども食堂や子どもに対する食材等の提供などの支援を行う民間団体等も含めた様々な地域ネットワークを総動員し、支援ニーズの高い子ども

等を見守り、必要な支援につなげることができる体制を強化する。

## 〔西宮市〕

### 保育所入所選考 A I システム導入事業

(R 3 年度当初予算 2,519千円)

#### ■概要

女性の就業率の増加や幼児教育・保育の無償化等により、保育所入所申込者数は年々増加している。これに対応するために A I による入所選考システムを導入し、業務の効率化を目指す。

・令和 3 年度：システム構築、運用開始

### 学校情報化推進事業

(R 3 年度当初予算 693,043千円)

#### ■概要

学校園において、教職員、児童・生徒が、I C T 機器を安全かつ有効に活用することで、情報活用能力の育成と「夢のある授業・わかる授業」を実現するための環境を整備する。

・令和 3 年度：学校インターネット回線の増強、G I G A スクール端末導入によるサポートデスクの増強

### 健康ポイント事業

(R 3 年度当初予算 239,176千円)

#### ■概要

本事業は、高齢者の健康増進、介護予防及び健康寿命の延伸を目的とし、4月1日時点で70歳以上の市民を対象に、歩数計又はスマートフォンアプリを用いて計測した歩数に応じてポイントを付与するもので、令和 3 年10月より開始する。獲得したポイントは、商品券などの景品と交換することが可能。

### 乳幼児等医療費助成制度の拡充

(R 3 年度当初予算 1,336,897千円)

#### ■概要

乳幼児等医療費助成制度は、乳幼児等医療費受給者証の交付を受けた方の健康保険が適用される医療費について、市が自己負担額の全部又は一部を助成し、受給者の費用負担を軽減する制度である。

子育て支援の観点から、令和 3 年度より、乳幼児等医療費助成制度の所得制限を見直し、所得基準額以上の世帯の児童への医療費自己負担額の一部助成を、小学 3 年生まで拡大する。

### 給水スポット整備事業

(R 3 年度当初予算 3,769千円)

#### ■概要

世界規模での海洋汚染が問題となっているプラスチックごみの削減推進の一環として、誰もが自由に

給水することが可能となる給水スポットの整備を進め、マイボトルの利用を推奨することにより、ペットボトルの排出抑制及びペットボトルの製造過程・運搬時等に排出される C O<sub>2</sub> 排出量の削減を図る。

・令和 3 年度：給水機運用開始

## 〔奈良市〕

### 民間園おむつ処分費補助事業

(R 3 年度当初予算 1,900千円)

#### ■概要

奈良市の多くの民間保育所等では、保育中に使用した紙おむつは保護者による持ち帰りが行われているが、衛生的でないことに加え、荷物が増えるという点において保護者の負担となっている。

令和 2 年度から公立保育所等で使用済紙おむつの処分が開始されたことに伴い、民間保育所等における使用済紙おむつの処分の継続又は導入促進を図るため、使用済紙おむつ処分に要する費用の一部（一般廃棄物処理手数料相当）を補助する。

### 養育費確保支援事業

(R 3 年度当初予算 6,820千円)

#### ■概要

養育費に関する相談業務を委託し、養育費の確保の手続きに伴い発生する自己負担金の一部を補助することで、養育費の取決め内容の債務名義化を促進し、養育費の不払い解消、継続した履行確保を支援する。

奈良県と共同で運営しているスマイルセンターでの弁護士や養育費相談員の無料相談とあわせて実施していくことで、ひとり親家庭の生活の安定と児童福祉の増進を図る。

### 月ヶ瀬梅林名勝100周年記念事業

(R 3 年度当初予算 1,000千円)

#### ■概要

全国ではじめて国の指定を受けた月ヶ瀬梅林は、令和 4 年に名勝指定100周年を迎える。この周年記念という機会に、名勝月ヶ瀬梅林の魅力を広く周知し、観光客の誘致につなげるとともに、月ヶ瀬のもつ文化的な価値を発信する。

### ふるさと起業家支援事業

(R 3 年度当初予算 1,500千円)

#### ■概要

起業家への資金補助等の具体的な創業支援策として、奈良市の創業者に寄り添った支援制度「ふるさと起業家支援プロジェクト」を創設し、クラウドファンディング型のふるさと納税を利用した資金調達手段を提供することで、継続可能な奈良市独自の支援を行う。

公募する事業には社会課題解決や、奈良の魅力発信に寄与する事業となるよう外部有識者による選考を実施する。

### 適応指導教室青山教室（HOP青山）運営事業

（R3年度当初予算 18,000千円）

#### ■概要

不登校の要因や相談内容は、子どもたちにかかわる状況やその背景など多様化・複雑化してきており、支援の選択肢も多様化させる必要がある。

現在教育センターで実施している適応指導教室「HOP（ホップ）」に加えて、さらに不登校の子どもたちひとりひとりの状況に寄り添った学びに対する支援を行っていく適応指導教室青山教室（HOP青山）を新たに開設することで、社会的自立に向けた支援を行う選択肢を広げていく。

### 〔和歌山市〕

#### わかやま市型移住支援金の創設

（R3年度当初予算 10,000千円）

#### ■概要

和歌山市への移住及び定住の促進、中小企業等における人手不足の解消に資するため、和歌山県外から移住した方に対して移住支援金を交付するもの。

#### ■内容

一定の条件を満たす方に対して、移住支援金を交付する。

2人以上世帯：500,000円

単身世帯：300,000円

＜移住に関する要件＞

- ①和歌山県外に在住していたこと。
- ②移住する直前の5年間において和歌山県内に住民登録がないこと。
- ③5年以上継続して和歌山市に居住する意思を有していること。

＜就業に関する要件＞

- ①和歌山県就活支援サイトに移住支援金の対象として掲載している求人であること。
- ②プロフェッショナル人材事業又は先導的人材マッチング事業を利用して、就業したこと。
- ③和歌山県外に存する企業に勤務する被雇用者としてテレワークを行っていること。
- ④和歌山市が認定する関係人口に該当し、和歌山市内で就業し、起業し、又は移住前から個人事業主として事業を持ち、移住後もその事業を継続していること。
- ⑤起業支援金の交付決定を受けていること、又は和歌山市の運営するお試しショップを利用し、その後実際に起業したこと。

#### ■特色

令和2年度までは東京23区の在住者や通勤者を対象とした移住支援金制度しかなく、東京圏以外から移住される方に対する支援制度がなかったことから、和歌山市独自の移住支援金（わかやま市型移住支援金）制度により、和歌山市への移住を進める。

### 中学校全員給食に向けた準備

（R3年度当初予算 9,878千円）

#### ■概要・内容

現在、選択制デリバリー給食を実施している中学校において、学校教育の一環として、健康の保持増進や学校給食を活用した食育の推進等の充実を図るため、和歌山市の給食に係る様々な課題を調査するとともに、最適な学校給食実施方式を調査し、全員給食の実施に向け、今後の給食の在り方について検討を行う。

#### ■特色

各中学校の立地、和歌山市の地域的特性、既存の小学校の給食室や共同調理場の状況や処理能力、人口の動態などを総合的に分析し、様々な給食の供給方式のコスト算出・メリット・デメリットについて調査予定。

### こども医療費助成制度の充実

（R3年度当初予算 5,280千円）

#### ■概要

所得制限を撤廃し、和歌山市に住む全ての子供が医療費助成を受けられるようにすることで、安心して子供を生き育てられる環境の充実を図る。

#### ■内容

令和4年8月からの所得制限撤廃に向けて、現行の福祉系システムの改修を行う。

#### ■特色

- (1)対象者
  - 0歳児から15歳児（中学校卒業後の最初の3月31日まで）
- (2)助成内容
  - ・入院、通院、調剤、補装具等に係る保険診療自己負担額
  - ・入院時の食事療養費自己負担額の半額

### 〔鳥取市〕

#### 新可燃物処理場建設事業

（R3年度当初予算 6,730,224千円）

#### ■概要・目的

##### 【経過及び背景】

国のごみ処理広域化計画に基づいて県が策定したごみ処理広域化実施計画を踏まえ、県東部地区15市町村（当時）は可燃ごみを広域処理するための基本協定を締結した。

これにより、東部広域行政管理組合は新たにごみ処理施設を建設することとし、河原町国英地区において新工場の供用開始（令和4年度予定）を目指している。

【目的及び効果】

県東部地区の可燃ごみの焼却を1か所に集約し、最新の処理施設を建設することにより、資源の循環と熱エネルギーの有効活用、万全の環境保全対策、安全かつ安定的な処理を行うとともに、広域処理によりごみ処理コストを削減する。

■内容

東部広域行政管理組合における事業実施に対する市町負担金を支払う。

- ①プラント建設工事設計・施行管理等
- ②プラント建設工事
- ③その他

環境影響評価関連事務、進入道路整備工事、用地の借上費他

平成30年度	447,292千円
令和元年度	808,931千円
令和2年度	2,855,657千円（見込み）

**減容化施設整備事業**

（R3年度当初予算 106,410千円）

■概要・目的

【経過及び背景】

農作物被害防止のために捕獲した鳥獣は、埋設・焼却・食用により処理していたが、最も件数の多い焼却処理が令和4年度から対応できなくなるため、新たな処分方法の確立が急務となっている。

【目的及び効果】

焼却に代わり、個体を減容化処理する施設を新たに設置することにより、捕獲の強化と適切な処理体制を確立する。

■内容

旧国府町岡益クリーンセンター建物内に新たな鳥獣処理施設を整備。

- ・施設改修、減容化プラント導入 106,409千円
- ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金

**鳥取城跡保存修理事業費**

（R3年度当初予算 351,729千円）

■概要・目的

【経過及び背景】

鳥取城跡附太閤ヶ平は、昭和32年に国指定文化財になって以後、年次計画で昭和18年の鳥取大震災等で損傷した石垣の保存修理を実施してきた。現在は、「史跡鳥取城跡保存整備実施計画（平成18年度策定）」に基づき、令和9年度を目標に大手登城路復元整備事業に取り組んでおり、平成20年度から復元の資料

を得るための発掘調査を補助事業で実施している。

【目的及び効果】

市民からも要望の強い鳥取城跡の復元・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。また、史跡の管理・活用を適正に実施する。

■内容・実績

- 1 復元等整備事業
    - 中ノ御門櫓門復元工事・設計監理業務
    - 中ノ御門石垣修理工事等
  - 2 管理活用事業
    - (1) 史跡の保存・活用に係る環境整備（除草・説明板設置等）
    - (2) 学術調査の実施
    - (3) 鳥取城調査研究年報・資料集の刊行
    - (4) 鳥取城フォーラム等の教育普及事業の実施
- ・事業の実績
- |            |           |
|------------|-----------|
| 平成30年度決算額  | 354,031千円 |
| 令和元年度決算額   | 290,070千円 |
| 令和2年度決算見込額 | 191,051千円 |

**鳥取市生涯学習推進講座 麒麟のまちアカデミー開設費**

（R3年度当初予算 14,745千円）

■概要・目的

【経過及び背景】

鳥取市では、「豊かな人生、豊かな社会を築く生涯学習」を推進し、概ね60歳以上の人を対象とした「尚徳大学」、市内に在住若しくは在勤の人を対象に様々なテーマの講座を行う「鳥取市民大学」、子どもから専門家まで自由なものづくりの可能性を広げる「ファブラボとっとり」など多様な学習機会を提供している。

【目的及び効果】

現代的な課題に対応し、幅広い世代のニーズに応える学びの提供をより充実するため、鳥取市の生涯学習の拠点である文化センターを拠点に各種生涯学習講座を一体的に運営することで、各講座の強みを活かした多様な学びを提供するとともに、人材育成や学習成果の還元・情報提供等の充実を図る。

■内容・実績

- 1 尚徳大学
  - 鳥取市在住の概ね60歳以上の人を対象とし、8つの専門コースを開設。
- 2 市民大学
  - 鳥取市内に在住若しくは在勤の人を対象とし、様々なテーマの講座を開講。
- 3 ファブラボと通りの運営
  - 3Dプリンタ等を活用したものづくり講座の開催や機器の貸出。
- 4 人材活用事業
  - 優れた知識、技能を有する地域人材を募り、講

師あるいは助言者として、各地域で開催される講座等に派遣を行う。

※その他の財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

### 鳥取砂丘西側整備事業

(R 3年度当初予算 1,403千円)

#### ■概要・目的

##### 【経過及び背景】

鳥取市は令和元年度に公募型プロポーザルを実施し、砂丘西側へのリゾートホテルの誘致を進めている。令和2年度には、鳥取砂丘未来会議から「鳥取砂丘の滞在環境等の上質化にかんする提言」を受け、柳茶屋キャンプ場やサイクリングターミナルの一体運営に向け、庁内に検討会議を立ち上げ検討を進めている。

#### ■内容・実績

柳茶屋キャンプ場とサイクリングターミナルの整備について、令和3年度にサウンディング型市場調査を行うとともに、公募型プロポーザルの実施についても検討を進める。このプロポーザルに必要なキャンプ場の敷地の測量データを業務委託により取得する。

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

### 〔松江市〕

### 製造業競争力強化事業費

(R 3年度当初予算 64,000千円)

#### ■概要

新型コロナウイルス感染症の影響により、新市場開拓等による売上回復が急務となっている市内の中小製造業において、令和2年度中に策定見込の「ものづくりアクションプラン（新型コロナウイルス特別対策版）」に基づく重点的支援を実施する。

##### 【特別対策内容】

- ①新市場開拓支援 48,000千円  
対象：新規販路開拓のための設備投資等  
補助額：1/2補助、上限3,000千円
- ②現場改善活動支援 9,000千円  
対象：現場改善のための備品購入・設備改修費等  
補助額：2/3補助、上限500千円
- ③プロジェクト連携支援 3,000千円  
対象：共同受発注等に取り組む研究開発経費等  
補助額：2/3補助、上限1,000千円
- ④人材育成支援 4,000千円  
対象：研修・訓練経費  
補助額：1/2補助、上限800千円

### 産婦健康診査事業費（乳幼児健診事業費）

(R 3年度当初予算 17,166千円)

#### ■概要

産後うつ発症のピークと言われる産後2週間、産後1か月など出産後間もない時期の産婦に対して健康診査を実施する。(本人負担なし)

##### 【対象者】

松江市に住民票のある産後2週間、産後1か月の産婦

##### 【健康診査の内容】

- ①問診 ②診察 ③体重・血圧測定 ④尿検査
- ⑤エジンバラ産後うつ病質問票

##### 【健康診査の効果】

- ・母体の身体的機能の回復や授乳状況の把握
- ・産後うつ病への早期支援

##### 【事業費】

- ・事務・事業等委託費@5,000円×1,480人×2回  
=14,800千円
- ・扶助費（償還払い分）@5,000円×80人×2回  
=800千円
- ・委託料（OA関係委託費）システム改修等  
=1,027千円
- ・その他事務費（通信運搬費等）  
=539千円

### 医療体制の整備に係る経費

(R 3年度当初予算 144,171千円)

#### ■概要

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と医療体制の整備として下記の事業を実施する。

##### 【妊産婦ウイルス検査等対策事業費】

事業費3,120千円

妊婦がPCR検査を受けることを希望する場合の検査費用を支援する。

##### 【保健衛生諸費】

事業費78,778千円

行政検査に係る経費。

##### 【感染症医療体制整備事業費】

事業費14,177千円

新型コロナウイルス感染症患者の移送体制確保及び入院医療の公費負担に係る経費。

##### 【地域外来・検査センター運営事業費】

事業費47,214千円

令和2年10月に開設した松江地域検査センターの運営に係る経費。

##### 【疫学調査に係る経費】

事業費882千円

新型コロナウイルス感染症の検体搬送、検体採取、疫学調査に係る経費。

**観光回復キャンペーン事業費（ReHappy！キャンペーン）**

(R3年度当初予算 30,000千円)

**■概要**

新型コロナウイルス感染症の影響により低迷している観光需要の回復を目指し、流行収束後に速やかに人の流れを創出していくため、戦略的なマーケティングと状況に応じたプロモーション活動を行っていく。

**【主な事業】**

- ・戦略的なマーケティングと推進体制の構築  
事業費：10,000千円
- ・状況に応じたプロモーション活動  
事業費：8,300千円
- ・国宝松江城情報発信事業  
事業費：10,000千円
- ・その他事業（ReHappy！キャンペーンサイトの運営等）  
事業費：1,700千円

**保育所等入所選考システム導入事業費**

(R3年度当初予算 7,462千円)

**■概要**

保育所入所選考業務にAI入所選考システムを導入することで、作業の迅速化による保護者へのサービス充実（結果の早期通知、窓口対応の充実等）と業務の効率化を図る。

**【事業費】**

委託料（システム導入業務委託） 7,462千円

**〔倉敷市〕****ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業**

(R3年度当初予算 1,050千円)

**■目的**

高等学校を卒業していない（高校中退を含む）ひとり親家庭の親及びひとり親家庭の児童が、より良い条件での就業や転職等をするために高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す講座を受講した場合に、その費用の一部を支給する。

**■内容**

- ・受講修了時給付金 700千円  
受講費の40%（上限10万円）
- ・合格時給付金 350千円  
受講費の20%（受講修了時給付金と合わせて上限15万円）

**金融機関連携型中小企業支援事業**

(R3年度当初予算 15,447千円)

**■目的**

金融機関の支援による事業の質と実効性の向上と、

テーマ設定による支援方向の明確化を図り、中小企業者が行う持続的な成長に向けた取組を効果的に支援する。

**■内容**

中小企業が申請、実施に当たり、金融機関の指導・助言を受けながら行う取組への補助金。限度額1,000千円。補助率3分の2。

令和3年度は、①デジタル化による生産性向上と競争力強化、②事業承継による持続的成長、③海外販路開拓による競争力強化の3テーマを設定予定。

**居住誘導区域空家等改修事業**

(R3年度当初予算 8,000千円)

**■目的**

倉敷市立地適正化計画を推進するため、同計画で設定した居住誘導区域内の空家等を所有者等が居住する目的で行う改修について、その費用の一部について補助金を交付するもの。

**■内容**

(1)対象となる要件

- ・倉敷市立地適正化計画で設定した居住誘導区域内に存在する空家等であること
- ・1年以上居住に供していないこと
- ・昭和56年5月31日以前に着工されたものについては、耐震基準を満たしていること又は補助金実績報告時点で耐震基準を満たすための耐震改修工事を完了していること
- ・本人等が居住すること
- ・倉敷市内に本社又は本店を有する市内業者が施工すること

(2)補助対象工事

住宅機能の維持若しくは向上させるための修繕、模様替え、一部改築等の改修工事

(3)補助額

改修工事に要する費用の1/2、補助上限額50万円

**景観形成重点地区景観向上推進事業**

(R3年度当初予算 5,000千円)

**■目的**

景観形成重点地区内の既存の建築物及び屋外広告物について、当該地区の基準に適合させるための外観修景や屋外広告物改修などの工事費の一部を助成する。

**■内容**

○屋外広告物の場合

- ・屋上広告物や壁面の高さ基準を超える屋外広告物の「除却」
- ・上記の除却に伴う、代替えとなる屋外広告物の「新設」

- ・色彩基準に適合するための「変更」
- 建築物等(外観修景)の場合
  - ・建物の屋上や敷地内にある、付帯設備(受水槽・受電盤など)の目隠し設置
  - ・素材や材料、色彩に配慮した、外壁や屋根の改修
  - ・低層部(1～2階程度)の改修(オープンスペース、ショーウィンドー等への改修)
  - ・外構の植栽、建築物の緑化(壁面緑化・屋上緑化)
  - ・落ち着いた夜の夜間の演出照明

### 浸水対策事業

(R3年度当初予算 432,190千円)

#### ■目的

浸水被害から、市民の生命・財産を守るため、排水機場などの各施設の改修等を行う。

#### ■内容

- 大西排水機場除塵機更新工事  
8,400万円(特財:8,400万円)
- 粒江排水機場ポンプ増強設計委託料  
1,200万円(一財:68万円、特財:1,132万円)
- 福田呼松第2排水機場耐震設計委託料  
3,500万円(特財:3,500万円)
- 福田呼松第2排水機場電源装置更新修繕料  
1,350万円(一財:450万円、特財:900万円)
- 坂田町排水機場ポンプ修繕料等  
4,420万円(特財:4,420万円)
- 大正橋排水機場ポンプ修繕料  
1,350万円(特財:1,350万円)
- 服部排水機場除塵機新設設計委託料  
700万円(特財:700万円)
- 県営工事負担金(排水機場改修事業負担金)
  - ・農林 10か所 2億1,849万円  
(一財:4,199万円、特財:1億7,650万円)
  - ・土木 1か所 450万円(特財:450万円)

### 〔福山市〕

### 新型コロナウイルス感染症対策の強化 (市民への生活支援)

(R3年度当初予算 396,354千円)

#### ■概要

- ◎子育て家庭などの応援
  - 子育て家庭への支援
    - ・新たに子どもが生まれた家庭やひとり親家庭への応援金の支給
    - ・子ども食堂やフリースクールの活動支援

### 都市魅力の創造(福山駅周辺の再生)

(R3年度当初予算 676,579千円)

#### ■概要

- ◎ウォーカーブルな空間づくり

- 駅前広場の再整備
  - ・基本方針の策定(2022年度)に向けた協議会の設置
- 福山駅前送迎バス乗降場の整備
  - ・回遊性を高めるバス乗降場の整備
- テラス営業の活用促進
  - ・国家戦略特区などの規制緩和による道路空間の活用促進
- エフピコR i Mの再生
  - ・改修工事、市民参加型イベントの実施(2022年4月リニューアルオープン)
- 福山城築城400年に向けた整備
  - ・福山城公園大型バス駐車場の整備
  - ・駅北ロスクエア広場の整備

### 都市魅力の創造(医療提供体制の充実)

(R3年度当初予算 326,394千円)

#### ■概要

- ◎福山市民病院の機能強化
  - 市民病院本館の建て替え
    - ・がん医療・救急医療・高度専門医療の機能強化などに向け、増改築の基本設計を策定(2023年度建設工事着手)
  - 小児救急医療拠点病院の指定
    - ・24時間365日対応の小児救急医療体制の整備
- ◎持続可能な医療提供体制の構築
  - 周産期医療体制の強化
    - ・大学と連携した医師の育成・確保
    - ・持続可能な周産期医療体制の構築に向けた調査・研究
  - 医師の確保
    - ・初期臨床研修医の研修などに要する費用の補助
  - 看護職員の確保
    - ・金融機関と連携した奨学資金制度の創設

### 都市魅力の創造(M I C Eの推進)

(R3年度当初予算 1,009,682千円)

#### ■概要

- ◎戦略的なM I C E誘致
  - M I C E人材の育成
    - ・関係事業者向けセミナーの開催
    - ・M I C Eの開催を支援する福山M I C Eサポーターの育成
  - M I C Eの推進に向けたサイン計画の策定
    - ・多言語案内標識の整備計画の策定
- ◎福山城築城400年へのカウントダウン～2022年の築城400年に向けて～
  - プレイベントの実施
    - ・500日前、400日前、300日前、200日前イベントの開催

◎世界バラ会議福山大会への本格始動～2025年の大会開催に向けて～

○ガーデンツーリズムの推進

- ・ばらをテーマにした旅行商品の造成  
→コロナ禍におけるマイクロツーリズムとして展開

## 人口減少対策の強化（福山ネウボラの強化）

（R3年度当初予算 1,868,246千円）

### ■概要

◎男性の育児参加の促進

○男性の育児休業取得支援

- ・企業が男性の育児休業取得者の代替人材を確保する経費の補助

◎妊娠・出産・子育ての不安解消

○ネウボラ相談窓口「あのね」と「えほんの国」の商業施設での再開

- ・【開館】5月予定 【場所】天満屋福山店

○ファイナンシャルプランナー相談

- ・ライフプランや経済面の不安などを気軽に相談できる体制の整備

○子ども家庭総合支援拠点機能の設置

- ・専門職による相談対応や継続的なソーシャルワークの中心的役割を担う拠点整備を新設

○産後ケアの充実

- ・産後1年までの家庭を訪問し、母体の体調管理や心身のケアなどの育児支援を実施

◎子どもの学び・遊び場づくり

○（仮称）子ども未来館構想の推進

- ・市民や専門家などからのアイデアや意見を踏まえた基本構想を策定

○富谷公園の遊具の美装化

## 〔高松市〕

### スマートシティたかまつ推進事業

（R3年度当初予算 30,385千円）

### ■概要

ICT・データの活用と産学民官の多様な主体が参画するスマートシティたかまつ推進協議会との連携により、高松市が抱える地域課題の解決を図るため、IoT共通プラットフォームを活用して、様々な分野のデータの収集・分析等を推進する。

### ■特色

平成29年度に総務省のデータ利活用型スマートシティ推進事業に採択され、国内で初めて、ヨーロッパで開発されたIoT共通プラットフォーム（FIWARE）を構築し、データ利活用により地域課題の解決を図る「スマートシティたかまつ」プロジェクトを開始した。

また、その推進体制として、産学民官の多様な主

体が参画するスマートシティたかまつ推進協議会（会長：大西市長）を設立し、協議会会員が連携しながら、防災、観光、福祉、交通安全、まちづくり等、様々な分野において、データ利活用による地域課題の解決に向けた取組を推進している。

### 温泉をいかした塩江地域の観光振興事業 附属医療施設（塩江分院）整備事業

（R3年度当初予算 93,071千円）

### ■概要

○温泉をいかした塩江地域の観光振興事業

観光客のニーズや嗜好、環境の変化等に的確に対応し、地域の持つ魅力を向上させて塩江地域の活性化を図るため、塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づき、温泉をいかした塩江地域の観光振興に取り組む。

○附属医療施設（塩江分院）整備事業

「高松市民病院と香川診療所を移転統合した新病院（高松市立みんなの病院）を整備し、塩江分院をその附属医療施設とする」という基本方針に基づき、附属医療施設（塩江分院）を整備し、市立病院の統合・再編を行う。

### ■特色

高松の奥座敷とも言われる塩江温泉郷をオンリーワンの価値を持つ温泉郷に磨き上げるための指針として、平成29年3月に策定した塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づき、塩江温泉郷の活性化と高松市の観光振興に向け、各種施策に取り組んでいる。

この取組の一環として、塩江道の駅エリアにおいて、物販・飲食、温浴、観光情報発信等の複合的な機能を持つ観光関連施設と医療施設の一体的な整備を行うことで、塩江温泉郷のシンボルとなる高松市南部の新たな交流拠点づくりを目指すもの。

### 再生可能エネルギー普及促進事業

（R3年度当初予算 35,400千円）

### ■概要

ゼロカーボンシティの実現に向け、暮らしの脱炭素化を推進するため、スマートハウスやZEH設備の設置等に対し、費用の一部を補助する。

また、再生可能エネルギーのさらなる拡充・利用促進を進めるための調査・研究を行う。

さらに、再生可能エネルギーの普及促進を図るため、事業者にも市有地の有償貸出を行う。

○スマートハウス等普及促進補助金

- ・蓄エネ設備及びHEMS設置費補助金  
蓄エネ設備及びHEMSの設置

1件×10万円

HEMSのみ設置の場合

1件×2万円

- ・ZEHを構成する設備の設置に係る上乗せ加算

1 件× 5 万円

- ・居住誘導区域内の住宅建設に係る上乗せ加算

1 件× 5 万円

- ・既築住宅の高性能建材を用いた断熱改修

1 件× 5 万円

○地域再生可能エネルギー導入を計画的・段階的に進める戦略策定業務

○エネルギーの地産地消可能性調査業務

○太陽光発電事業者への市有地貸出

### ■特色

ゼロカーボンシティの実現に向け、エネルギーの地産地消と、家庭部門の脱炭素化を推進する取組。

また、地域再生可能エネルギーの最大限の導入を促進するため、長期目標として2050年を見据えて、地域への再生可能エネルギー導入のプランを明確にする。

## 地域公共交通再編事業

(R 3 年度当初予算 265, 448千円)

### ■概要

持続可能な公共交通のネットワークの構築を目指すため、平成31年3月に改定した高松市総合都市交通計画に基づき、高松市地域公共交通網形成計画及び高松市地域公共交通再編実施計画に沿って、新駅の整備やバス路線網の再編等に取組、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進する。

### ■特色

コンパクト・プラス・ネットワークの考えの下、既存の鉄道路線を基軸とし、バスをフィーダーとする、持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けて取り組んでおり、集約されたまちを公共交通でつなぐまちづくりを目指す。

## ほっとかんまち高松づくり事業（高松型地域共生社会構築事業）

(R 3 年度当初予算 31, 368千円)

### ■概要

子供・高齢者・障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる地域共生社会の実現のため、まるごと福祉相談員を配置し、地域の拠点や複合的課題を抱えた世帯等を訪問し、支援につなぐとともに、総合センター等につながる福祉相談窓口を設置し、分野別縦割りを超えた相談支援を実施する。

また、貧困の状況にある子供やその親たちが、適切な支援を受けられる環境づくりを進め、子供に関する諸問題に対応するため、コーディネーターを配置し、相談支援体制の整備や関係機関のネットワーク構築を図る。

### ■特色

高松型地域共生社会では、子供・高齢者・障害等の分野にかかわらず、地域の多くの福祉課題に対し、地域の身近な拠点である総合センター等において、「まるごと」対応・支援を行うこととしており、包括的支援サービスの向上につながる。

また、子供の未来応援コーディネーターを配置することで、関係機関等からの相談に応じるとともに、関係機関との必要な連携や情報共有により、適切な支援につなぐ。

## 〔松山市〕

## 待機児童対策・保育の質向上事業

(R 3 年度当初予算 230, 846千円)

### ■概要

待機児童対策に加え、保育の質向上を目的とし、4月に1、2歳児の定員を超えて受け入れている施設への助成、入所予約制の導入、加配保育士に対する助成、障がい児保育を担う保育士への助成を実施し、保育サービスの充実を図る。令和3年度から、使用済み紙おむつの処分費用を助成し、保護者及び保育士の負担を軽減する。

## 博物館開館40周年等記念事業

(R 3 年度当初予算 4, 580千円)

### ■概要

子規記念博物館開館40周年にあたり、記念事業等を実施し、更なる研究活動の振興を図るとともに、デジタルアーカイブを開設することで、来館者の裾野を広げる。

## 松山圏域消防指令センター整備事業

(R 3 年度当初予算 19, 500千円)

### ■概要

令和6年4月から松山圏域消防本部（松山・伊予・東温）での消防指令業務の共同運用を開始し、将来にわたって持続可能な消防体制を確立する。令和3年度は、消防通信指令管制システムの調達に必要な実施設計等を行う。

## 果樹流通施設整備事業

(R 3 年度当初予算 481, 980千円)

### ■概要

「紅まどんな」などの果皮が柔らかい品種の選果に対応し、荷造りの効率化・高度化による産地力強化と農家所得の向上を目的とし、えひめ中央農協が中島選果場で行う選果施設の更新や腐敗検出センサーの導入等の取組に対し、補助を行う。

**森林・山村多面的機能発揮対策事業**

(R 3 年度当初予算 265 千円)

**■概要**

地域住民、森林所有者、自伐林家等が協力して行う、里山林の保全や竹林整備、森林資源の利活用等への取組に対して支援を行う。

**〔高知市〕****れんけいこうち広域都市圏関連事業（日曜市出店事業）**

(R 3 年度当初予算 11,290 千円)

**■概要**

日曜日の中に圏域市町村の出店スペース（れんけい小間）を設け、各市町村が輪番制で観光PRなどの情報発信や農産物・加工品等特産品の販売等を行う。また、出店市町村と連携しれんけい小間をPRするミニイベント等を行う。

**れんけいこうち広域都市圏関連事業（市場産品販路拡大推進事業）**

(R 3 年度当初予算 31,879 千円)

**■概要**

バイヤーの多様なニーズに圏域で連携して対応できるように販路拡大に関する圏域市町村のネットワークを構築する。高知市が主催・出展する見本市等について、参加者要件を高知市内事業者から圏域全体に拡大し共同出展することでスケールメリットによる販路開拓等の機会を創出する。

**れんけいこうち広域都市圏関連事業（二段階移住推進事業）**

(R 3 年度当初予算 25,000 千円)

**■概要**

高知市を拠点とした二段階移住を推進し、圏域全体への移住・定住の促進を図るために、大都市圏などの潜在的な移住希望者を対象として、二段階移住のPR（ハンドブック作成、ポータルサイトの新設など）に取り組む。また、一段階目の高知市でのお試し移住補助、レンタカー補助、市町村でのお試し滞在施設との相互利用、連携した相談体制の充実などに取り組む。

**G I G A スクールサポーター配置事業**

(R 3 年度当初予算 9,900 千円)

**■概要**

コールセンターにおいて、学校からICT機器操作の相談及び問合せの対応、ICT機器の障害が発生した場合の一次対応、GIGAタブレットに係る修繕（送バック）対応の支援及び各サポート業者への連絡を行う。

**マンホールトイレ整備事業**

(R 3 年度当初予算 180,000 千円)

**■概要**

南海トラフ地震などの大規模災害時における災害関連死ゼロを目指し、L1津波浸水区域外の主要な指定避難所（39施設）にマンホールトイレを整備する。令和3年度は39施設のうち、くみ取り式マンホールトイレを5施設に新設し、旧浄化槽を活用したくみ取り式マンホールトイレを3施設に整備する。

**〔大分市〕****新たなモビリティサービス事業**

(R 3 年度当初予算 169,745 千円)

**■目的**

高齢者等の移動困難者や過疎地域における移動手段の確保、ドライバー不足への対応など、地域公共交通が抱える課題解決に向けた取組として、自動運転車両の活用を調査するとともに、グリーンスローモビリティの実験運行の実施など、多様な技術を活用した新たなモビリティサービスの創出を目指す。

**■内容****【主な事業の内容】**

大分市が所有するグリーンスローモビリティを活用し、野津原地域や佐賀関内地域において実験運行を実施する。フリー乗降を主体とした運行により、道の駅や飲食・物販施設、観光地への移動や、病院、スーパー、金融機関への日常利用、路線バス等との接続による域外移動などのニーズ調査等を行う。また、新たな車両を購入し、実験運行地域の拡大を図る。

自動運転機能を活用した短期間の実験運行など多様な技術を活用した新たなモビリティサービスの創出に向け、調査・検討を進める。

- ①グリーンスローモビリティとしての実験運行  
34,800 千円
  - ・野津原地域：道の駅と植田地域を結ぶ拠点間の実験運行を実施する。
  - ・佐賀関地域：佐賀関内を循環する拠点内の実験運行を実施する。
- ②自動運転車両としての実験運行  
62,528 千円
  - ・自動運転による短期間の実験運行を実施する。
  - ・自動運転のあり方検討会議の開催
- ③車両購入（グリーンスローモビリティ）  
38,844 千円
  - ・新たな車両を購入し、実験運行地域の拡大を図る。
- ④新しい技術を活用したモビリティの調査  
11,000 千円

《債務負担行為》

グリーンスローモビリティ実験運行事業

限度額 42,000千円

期間 令和3年度～令和4年度

### ■実績・効果

グリーンスローモビリティの実験運行を通じ、日常的な利用者ニーズや安全で円滑な移動、フリー乗降の有効性等の調査を行い、新たなモビリティサービスの創出を目指す。

自動運転の実験運行では、遠隔監視・操作技術等を取り入れ、地域公共交通への社会実装に向けた調査・検討につなげる。

## 西部海岸地区憩い・交流拠点施設整備事業

(R3年度当初予算 34,671千円)

### ■目的

西部海岸地区の魅力をもっと高め、観光客の増加などの新たな活力を呼び込むための「憩い・交流拠点施設」を整備し、観光における大分市の玄関口としての機能を確保することで、賑わいの創出と周遊の促進を図る。

### ■内容

#### 【事業の内容】

「憩い・交流拠点施設」の整備(設計・建設・維持管理・運營業務を一括で発注するDBO方式にて実施)に向けて、アドバイザー業務を発注し、民間事業者の募集、選定等を行う。

#### 【事業費内訳】

- ①アドバイザー業務委託料 10,000千円
- ②観光表示板移設に係る経費 8,100千円
- ③事務費等 2,171千円

《債務負担行為》限度額2,383,000千円、期間：令和3年度～令和21年度

#### 【スケジュール】

- ・令和3年度…事業者公募、基本契約の締結
- ・令和4年度…施設設計
- ・令和5年度…施設整備工事
- ・令和6年度…供用開始

### ■実績・効果

令和元年度：基本計画策定、国交省と設置に関する覚書締結、市場調査実施(8社)、大分県公開型官民対話型市場調査実施(7社)

令和2年度：地元説明会実施(参加者61名)、実施方針(案)公表、説明会実施(13社)、要求水準書(案)公表説明会実施(14社)、国交省が「憩い・交流拠点施設整備」に伴う交差点新設工事に着手

## 〔宮崎市〕

### G I G Aスクール推進事業

(R3年度当初予算 89,485千円)

#### ■概要・内容・特色

宮崎市ならではの「未来の教室」の創造を目指すため、AI型教材の導入により、児童・生徒一人ひとりに個別最適化された学びを保障し、教科教育の効率化を図る。

・小学校5、6年の児童及び中学校全学年の生徒に対し、各教科等の時間にAI型教材を活用した授業の実施

・教材事業者等から学校に対してのAIドリルの効果的な活用方法や教育カリキュラムの編成に関するアドバイス等の支援

### 神話の魅力を生かした観光誘客推進事業

(R3年度当初予算 17,000千円)

#### ■概要・内容・特色

神話の魅力発信や認知拡大及び県外からの観光誘客を図るため、神話の魅力を生かした事業にかかる経費を支援する。

・宮崎神宮大祭における神々のパレード及び神武さま広場の開催支援

・神話の魅力を生かした誘客・認知拡大事業

### 高松橋改修事業(長寿命化対策)

(R3年度当初予算 203,500千円)

#### ■概要・内容・特色

橋梁の安全性の確保及び維持管理に係るトータルコストの削減を図るため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高松橋の耐震補強を含めた大規模な改修工事を行う。

## 〔鹿児島市〕

### 行政デジタル化推進事業

(R3年度当初予算 23,434千円)

#### ■目的

新たな技術を政策に積極的に取り入れ、デジタル・トランスフォーメーション(DX)の取組を推進し、市民の利便性を向上させるとともに、行政運営の効率化を進める。

#### ■概要

市長をCIO(最高情報統括責任者)として位置づけたうえで、民間の専門的な知見の活用に向け、CIO補佐官を登用するとともに、個人住民税賦課業務への定型業務を自動化するRPA導入や障害福祉課及び長寿支援課への窓口音声認識システムの導入などを行う。

#### ■特色

CIO補佐官の登用、RPA及び窓口音声認識システムの導入

**SDGs推進事業**

(R3年度当初予算 1,631千円)

**■目的**

SDGsを推進するための普及啓発や、かごしまSDGs推進パートナー等の交流・連携を進める。

**■概要**

(1)「かごしまSDGs推進パートナー」の募集・登録

SDGsの推進に向けて、ともに取り組む「かごしまSDGs推進パートナー」を募集・登録するとともに、企業名やその取組内容を市ホームページ等で紹介し、広く普及・展開を図る。

(2)「かごしまSDGsパートナーシップ推進会議(仮称)」の開催

かごしまSDGs推進パートナーや関心を持ちながら取組方のわからない事業者等を対象にセミナーや事例発表、意見・情報交換等を行う会議を開催する。

(3)普及・啓発

- ・ホームページ・広報紙など各種広報媒体を活用したSDGsの普及・啓発
- ・普及・啓発用パンフレットの作成
- ・SDGsの普及・啓発を目的とした大学生による課題解決型インターンシップの実施

(4)職員向け研修

SDGsについて、職員の理解を深め、各種施策を通して市民への普及啓発に取り組めるよう、研修を実施する。

**かごしま移住支援・プロモーション事業**

(R3年度当初予算 10,257千円)

**■目的**

県外から鹿児島市への移住世帯に対し奨励金を交付するなどして、鹿児島市への移住を促進する

**■概要**

1 移住相談対応

移住希望者からの相談対応の手段として、移住相談会への参加や電話・メール等に加え、WEB会議システムを活用したオンライン相談を実施する。

2 「かごしま市IJU(いじゅう)倶楽部」会員特典サービス制度

県外の移住希望者を対象に、鹿児島市の魅力や生活環境に触れてもらうため、関係事業者の協力により、一時滞在時の宿泊施設やレンタカー利用のほか、住まい確保に係る特典サービスを提供する。

3 移住奨励金

県外から鹿児島市への移住世帯に対して、引越費用等を対象に奨励金を交付する。

- ①交付対象経費 引越業者に支払った運送費用、

移住世帯の交通費

②交付率 対象経費の2分の1

③交付上限額 (最大20万円)

4 移住支援コーディネーター(1名)の配置

5 移住促進PR

ポータルサイトやパンフレット等を活用して、鹿児島市の魅力や生活環境、移住に関連する就労・住まい・子育て支援等の情報発信を行う。

**■特色**

新型コロナウイルス感染症の拡大やテレワークの浸透により、大都市圏の若い世代を中心に地方移住への関心が高まっている傾向を捉え、オンライン相談やIJU倶楽部の創設、奨励金の交付等に取り組んでいる。

**防災ガイドマップ作成・配布事業**

(R3年度当初予算 15,769千円)

**■目的**

災害時における市民の適切な避難行動につなげるため、出水期に備え、新たに想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、土砂災害特別警戒区域等や避難行動のポイントなどを掲載した防災ガイドマップ(A1版)を作成し全戸配布を行い、あわせて動画での周知を図る。

**■概要**

1 防災ガイドマップの作成・配布

県により、令和3年4月に土砂災害特別警戒区域等が指定されることや、国により、避難情報の見直しが行われること等を踏まえ、災害時の市民の適切な避難行動を促進するため、防災ガイドマップを作成し、6月に全戸配布する。

**【掲載内容】**

①防災ガイド面

○市民がとるべき避難行動のポイント

・避難行動判定フロー

・日頃の備え(備蓄・非常持出品・防災情報の入手方法)

・警戒レベルと避難情報 など

②防災マップ面(市域を22地区に分割)

・想定最大規模(概ね1,000年超に1回)の降雨を想定した洪水浸水想定区域

・土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域

・防災関連施設(指定緊急避難場所等)など

2 動画による周知の実施

防災ガイドマップを分かりやすく解説した動画を作成し、市ホームページや市政出前トーク等での周知を図る。

**■特色**

各世帯に居住地域が掲載された防災ガイドマップを配布することで、自宅周辺の危険箇所や指定緊急避難場所(兼指定避難所)を確認することができる。

**「パートナーシップ宣誓制度の導入」・****「性の多様性啓発支援事業」**

(R 3 年度当初予算 500千円)

**■目的**

一人ひとりの人権や多様性が尊重され、安心して暮らしていける鹿児島市を実現するため、パートナーシップ宣誓制度を導入するとともに、啓発冊子等を作成し、市民等の性の多様性に関する理解促進を図る。

**■概要**

(1) パートナーシップ宣誓制度の導入

## ① 制度の概要

性的少数者の当事者自身がお互いを人生のパートナーとして、日常生活において、相互に責任をもって協力し合うことを宣誓することにより、市が宣誓の事実を認め、宣誓書受領証及び受領カードを交付する。

## ② スケジュール

令和 3 年度早期導入予定

(2) 性の多様性啓発支援事業

## ① 性の多様性に関する理解促進パンフレット

・内容：性の多様性に関する基礎知識、差別・偏見解消の啓発、相談窓口等

・作成部数：3,000部

※市関係機関の窓口、学校・企業等や人権週間の啓発活動などでの配布、並びに人権擁護委員協議会等関連機関と連携した周知啓発

## ② ポスター

・内容：性の多様性への気づき

・作成部数：1,000部

※公共施設等や公共掲示板などで掲示

**〔那覇市〕****オープンデータ利活用推進事業**

(R 3 年度当初予算 1,370千円)

**■概要**

オープンデータの活用により得られる有用性及び利便性などを、広く市民や企業等へ周知し、関心・理解を深めるとともに人材育成を図ることを目的とする。

**■内容**

オープンデータの認知度向上及び利活用の推進を目的に、公開データやビッグデータを活用した地域課題の解決等をテーマとしたイベント（アイデアソン・ハッカソン）を市制100周年事業の一環として開催する。

※アイデアソン：ある特定のテーマについてメンバーが集まり、新たなアイデア等の創出やプランやモデルの構築を短期間に行うイベント。

※ハッカソン：与えられたテーマに対しチーム内でシステム等を短期間に開発し成果を競うイベント。

**■特色**

オープンデータの有用性や利便性などを、市民や企業に広く周知するため、地域課題の解決をテーマとしたアイデアソンやハッカソン、シンポジウムを開催する。

オープンデータが利活用されることにより、新たなビジネスや市民との協働による公共サービスの創出が期待される。

**デジタル化推進事業**

(R 3 年度当初予算 8,825千円)

**■概要**

ICTやデジタル技術を積極的に活用した業務改革を推進し、住民サービスの向上に繋げていくことを目的とする。

**■内容**

デジタル技術等を活用した業務改革を全庁的に展開するにあたり、民間の専門的な知見を取り入れるため、内閣府「地方創生人材支援制度（デジタル専門人材）」を活用した、民間専門人材を任用するものである。

**■特色**

民間の視点や知見を加えることにより、急速に進展するデジタル技術の有効活用、国等の動向に応じた迅速な取組、庁内業務改革の意識向上に繋がり、ひいては市民サービスの向上に資することが期待できる。

**那覇市コロナ対策事業刷新支援事業**

(R 3 年度当初予算 15,000千円)

**■概要**

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、市域事業者が今後の新たな生活様式の社会に対応するための新事業への転換や業態変化、倒産の回避や雇用を守ることを目指しながら新たな取組を展開する市域事業者等の支援を目的とする。

**■内容**

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、市域事業者が今後の新たな生活様式の社会に対応するための事業の転換や業態変更などに関する事業。

1 事業者あたり1,000,000円×15事業者

**■特色**

事業刷新等により、企業における新サービスの創設や顧客開拓による幅広いビジネス展開が期待され、それに伴う市域での経済活性化につながる。新ビジネス展開に伴い、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による企業雇止め防止や失業者などの雇用の確保につながる。

## 〔青森市〕

## あおもり親子はぐくみプラザ

(総事業費 49,027千円)

## ■規模・構造

鉄筋コンクリート造一部4階建

## ■施設概要

## 1 設置目的

安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を提供する、青森市型ネウボラの拠点として、「あおもり親子はぐくみプラザ」を元気プラザ内に開設した。

## 2 施設内容

「母子保健サービス」と「子育て支援サービス」の相談窓口の一体化及びワンストップ化を図り、助産師や管理栄養士等の多職種の配置により、専門職がチームとなって妊娠期から子育て期の支援を包括的、継続的、効率的に推進する。

## 3 施設の管理運営

青森市

## ■特色

プラザ内にはプレイルームを設置し、親子で交流する場を提供している。

■開設年月日 令和2年4月1日

## 〔秋田市〕

## 秋田市まちなか観光案内所

(総事業費 166,366千円)

## ■構造

鉄筋コンクリート造

## ■施設概要

## 1 設置目的

観光客等に対する観光案内の充実を図るとともに、本市の歴史及び文化を生かしたまち歩き観光を推進し、秋田市の観光の振興及び地域の活性化に資することを目的として設置するもの。

## 2 配置諸室

ホール、トイレ、事務室、会議室、物置等

駐車場：3台分

## 3 施設の管理運営

指定管理

## 4 その他

利用料：無料

開館時間：4月～10月：午前9時～午後7時

11月～3月：午前9時～午後6時

休館日：12月31日～翌年1月2日（臨時休館日有り）

■開設年月日 令和3年4月1日

## 秋田市文化創造館

(総事業費 1,024,194千円)

## ■構造

鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

## ■施設概要

## 1 設置目的

秋田市の文化力及び市民の創造力を生かして新たな価値を生み出し未来に向けた文化を創造する活動の拠点として、市民一人ひとりが創造力を育み、発揮する機会を提供し、もって市民協働による文化創造のまちの実現を図る。

## 2 配置諸室

スタジオ3、コミュニティスペース1、カフェ1、ショップ1、総合案内・事務室1、屋外エリア、デッキ、トイレ、物置等

駐車場：車椅子使用者用1台

## 3 施設の管理運営

指定管理

## 4 その他

開館時間 午前9時～午後9時

休館日 毎週火曜日（休日の場合は、その日に最も近い休日でない日）

12月29日から翌年1月3日まで

■開館年月日 令和3年3月21日

## 泉外旭川駅

(総事業費 2,073,000千円)

## ■規模

駅施設1,000㎡、駅前広場5,800㎡、自由通路510㎡

## ■整備目的

鉄道とバス・タクシーをつなぐ秋田市の新たな交通結節点として、人々の自由な移動環境と周辺地域の生活環境の向上を図りながら、持続可能な公共交通網を実現することを目的として設置。

## ■施設概要

## 1 駅前広場(泉A=3,000㎡、外旭川A=2,800㎡)

(1) 階段エレベーター棟

斜路付き階段2箇所、エレベーター2基

(2) 駐輪場303台

(3) バス停2箇所

(4) タクシー乗降場2箇所

(5) 身障者専用乗降場2箇所

(6) 一般車乗降場8台

(7) 一般車駐車場2台

## 2 自由通路 L=107m、W=3.0m～4.0m

(1) 24時間通行可能自転車歩行者専用道路

《JR施工・秋田市管理》

(2) 階段1箇所

(3) エレベーター1基

(4) 公共トイレ（男性、女性、多機能）

- 3 駅施設《JR施工・JR管理》  
 (1) ホーム2箇所、L=125m、W=2.6m  
 (2) 旅客通路 L=36m、W=3.5m  
 (3) 待合室1箇所

■開業年月日 令和3年3月13日

〔福島市〕

**福島市写真美術館（通称：花の写真館）**

（総事業費 559,800千円）

■規模・構造

石造二階建木造小屋組瓦葺き、屋根架構木造小屋組、間仕切り木造

（敷地面積）1,689.29㎡（建築面積）423.65㎡

（延床面積）737.78㎡

■施設概要

- 設置目的  
 リニューアルオープンする写真美術館（花の写真館）において、オープン記念企画展等の各種事業を実施するとともに、市指定文化財である施設の適正な保護保存と管理を行う。
- 配置諸室  
 1階：展示室1～4（貸館）、休憩室、トイレ、備品庫等  
 2階：企画展示室、旧所長室、多目的室（貸館）、収蔵室、準備室、事務室、備品庫等
- 施設の管理運営  
 福島市振興公社
- その他  
 開館時間：午前9時～午後4時30分  
 休館日：12月29日～1月3日

■開設年月日 令和3年5月29日

〔水戸市〕

**水戸市清掃工場「えこみっと」**

（総事業費 22,786,920千円）

■規模・構造

地上5階、地下1階

鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造

■施設概要

- 設置目的  
 市内全域のごみを安全、安定的に処理することを目的とする。
- 処理能力：焼却設備330t/日（110t/日×3炉）  
 破碎設備24t/日、選別設備31t/日  
 処理方式：燃えるごみ 焼却  
 燃えないごみ及び粗大ごみ 破碎  
 資源物 選別、保管  
 有害ごみ 保管
- 利用用途  
 ごみ焼却施設（全連続燃焼式ストーカ炉）及び

リサイクルセンター

- 4 施設の管理運営  
 水戸市

■特色

本施設は、ごみの焼却後に残る灰の資源化、排水を施設内に放流しないクローズドシステムの採用、焼却時に発生する熱を回収して発電を行うなど、環境に配慮した最新式の施設である。

■開館年月日 令和2年4月1日

〔宇都宮市〕

**クリーンセンター下田原**

（総事業費 15,808,152千円）

■規模・構造

RC造（一部S造）

■施設概要

- 設置目的  
 宇都宮市では、これまで、北清掃センター、南清掃センター、クリーンパーク茂原の3工場において焼却ごみの処理を実施してきたが、老朽化のため、「宇都宮市一般廃棄物処理基本計画」（平成23年9月策定）において、北清掃センターと南清掃センターを集約し、新たなごみ焼却施設として更新した。
  - 施設内容
    - ・焼却炉形式  
 全連続燃焼式焼却炉（ストーカ式）
    - ・燃焼ガス冷却設備  
 廃熱ボイラ、エコノマイザ
    - ・排ガス処理設備  
 減温塔、乾式有害ガス除去装置、ろ過式集じん器、触媒脱硝装置
    - ・通風設備  
 押込送風機、誘引送風機（平衡通風方式）
    - ・発電設備  
 蒸気タービン発電機（3,500kW）
    - ・灰出設備（焼却灰）  
 灰押し出し装置、灰ピット（半湿式処理）
    - ・灰出設備（飛灰）  
 飛灰貯留槽、混練機、飛灰固化物ピット（薬剤処理）
  - 利用用途  
 処理能力：190t/日（95t/日×2炉）  
 施設種類：一般廃棄物ごみ焼却施設（ごみ発電施設）  
 処理対象物：焼却ごみ、可燃性粗大ごみ
  - 施設の管理運営  
 宇都宮市
- 特色
- (1)安心で信頼される施設
    - ・安全かつ安定的な稼働を行っている。

- ・排ガスや臭気等に万全な対策をとっている。
  - ・環境モニタリング情報を市民に提供している。
- (2)安定した処理が持続可能な施設
- ・災害への対策を行っている。
  - ・長期的利用が可能な施設となっている。
  - ・維持管理コストを抑えた経済性の高い施設である。
- (3)地域と調和した施設
- ・田園風景と調和した緑豊かな施設である。
  - ・解放感があり住民に身近に感じられる施設を目指している。
- (4)もったいないの心を未来につなげる施設
- ・ごみの減量化や資源化の大切さを伝える場としている。
  - ・ごみの焼却による熱エネルギーを最大限に利用している。
  - ・再生可能エネルギーの有効利用に努めている。

■開設年月日 令和2年5月23日

### エコパーク下横倉

(総事業費 9,919,251千円)

#### ■規模・構造

管理棟：S造（一部RC造）

被覆施設：S造

#### ■施設概要

##### 1 設置目的

将来にわたりごみを安定的に処理し、市民の快適な生活を確保するため、ごみを焼却する「清掃センター」や焼却した後の焼却灰などを埋め立てる「最終処分場」などを整備していく必要があり、宇都宮市では将来のごみ処理施設の整備方針を定める「一般廃棄物処理施設基本構想」（平成25年3月策定）において、新たな最終処分場を整備することとした。

##### 2 施設内容

###### 【埋立地】

被覆施設：全体被覆方式、鉄骨造、縦167m×横169m

貯留構造物：土構造（改良盛土）、縦163m×横165m×深さ15m

遮水工：底面部 二重遮水シート、ペントナイト  
砕石

法面部 二重遮水シート、電気式漏水検知システム

###### 【浸出水処理施設】

方式：凝集沈殿処理＋生物処理＋砂ろ過処理

能力：55m<sup>3</sup>/日

放流先：公共下水道

散水：沢水、雨水、地下水を利用

##### 3 利用用途

埋立容量：約290,000m<sup>3</sup>（15年間分相当）

施設種類：一般廃棄物最終処分場（被覆型）

埋立対象物：焼却灰、固化灰（ばいじん）、不燃残渣など

#### 4 施設の管理運営

宇都宮市

#### ■特色

##### (1)安全で安心な施設

・埋立物の飛散防止を図るため、最新の技術を用いて埋立地を建物で覆う全体被覆方式を採用。

・二重の遮水シートや漏水検知システムを導入するなど、様々な安全対策を実施。

##### (2)環境への配慮

・埋立物を安定化させるための散水には、水資源の有効活用やコスト削減の観点から沢水や雨水を利用。

・周辺環境を保全するため、生活環境及び自然環境における環境保全措置を適切に実施。

■開設年月日 令和2年11月18日

### 〔柏市〕

### 柏三小こどもルーム第三・第四保育室

(総事業費 15,834千円)

#### ■規模・構造

軽量鉄骨造2階建

#### ■施設概要

##### 1 設置目的

放課後児童健全育成事業に供するため。

##### 2 施設内容

昼間、保護者のいない家庭の児童の保育を行い、児童の健全な育成を図るもの。

##### 3 施設の管理運営

柏市

##### 4 その他

開館時間 平日：13時30分から19時まで

土曜：8時から18時30分まで

休館日等 日曜日、祝日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）

#### ■特色

学校敷地内に単独施設として設置しているもの。

■開設年月日 令和2年4月1日

### 公設市場立体駐車場

(総事業費 1,109,453千円)

#### ■規模・構造

鉄骨造3階建

#### ■施設概要

##### 1 設置目的

①場内事業者用の駐車場不足の解消

②青果物荷捌き所面積の不足の解消

##### 2 施設内容

1階 青果物低温荷捌き所 2,670m<sup>2</sup>

2階 駐車場	2,765㎡	駐車台数	95台
3階 駐車場	2,691㎡	駐車台数	95台
屋上階 駐車場		駐車台数	95台
		計	285台

高さ 13m

3 施設の管理運営

柏市

4 その他

開館時間 24時間開場

休館日等 無し

■特色

①立体駐車場の1階部分が、青果卸・仲卸業者が使用する青果物低温荷捌き所となっている。

②国土交通省認定工法を適用することにより法的設置義務のある消防設備、防火設備が軽減されている。そのために建設費と建設工期の削減が図られている。

■開設年月日 令和3年4月1日

**柏駅東口第二駐輪場（移転）**

（総事業費 未定）

■規模・構造

鉄骨造1階建

■施設概要

1 設置目的

駅周辺の自転車の放置を防止し、自転車の利用者の利便を図る。

2 施設内容

駐輪形態 平置き

自転車収容台数 550台

レンタサイクル（貸し自転車）台数 60台

3 施設の管理運営

芝園開発株式会社（指定管理者）

4 その他

開館時間 終日利用可

休館日等 無し（レンタサイクル事業12月29日から翌年の1月3日まで）

■特色

レンタサイクル事業を行っている。

■開設年月日 令和3年4月1日

**土小学校（校舎長寿命化改良）**

（総事業費 1,373,000千円）

■規模・構造

鉄筋コンクリート造地上3階建（一部鉄骨造）

■施設概要

1 設置目的

校舎全体の長寿命化

2 施設内容

学校施設の老朽化対策としての構造体の長寿命化や給排水設備等の更新などにより建物の耐久性

を高めるとともに、省エネルギー化や多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供など、現代の社会的要請に応じた施設の長寿命化を図る。

■開設年月日 令和3年4月1日

**〔横須賀市〕**

**平和中央公園**

（総事業費 483,715千円）

■規模・構造

近隣公園（リニューアル整備面積 約20,000㎡）

■施設概要

園路広場 1式

植栽 1式

ベンチ 8基

照明 12基

説明板 9基

トイレ 1棟

平和モニュメント 1基

■特色

1 芝生広場の整備

横須賀の街並みや、東京湾を一望できる高台に、大規模イベントなども開催可能な、約1,700㎡の芝生広場を整備。

2 バリアフリー化

高低差がある園内を円滑に移動できるように、スロープにて園路を整備。階段には手すりも設置。トイレを建替え「バリアフリースイートイレ」を整備。

3 植栽の充実

既存の樹木を整理するとともに、新たな樹木や地被類にてみどりを楽しめる空間づくりを整備。

4 ルートミュージアム

展望広場からは、ルートミュージアムに位置付けられた東京湾側の近代歴史遺産も多く望むことができ、それらのパノラマ案内板を整備。また、米ヶ濱砲台跡の一部を見学できる施設を整備。

5 新しい平和モニュメント

「平和の光」を上空へ照射する。

■開設年月日 令和3年4月1日

**〔富山市〕**

**富山市3×3バスケットボールコート**

（総事業費 39,380千円）

■規模・構造

敷地面積546.0㎡（予定）、延床面積352.3㎡（予定）

■施設概要

1 設置目的

市総合体育館をホームアリーナとしているBリーグ富山グラウジーズや富山市出身の八村塁選手のNBAでの活躍により、バスケットボールに対する注目度が高まっていることから、気軽にバ

スケートボールを楽しめる場所を整備することでスポーツ振興を図り、競技力の向上につなげるもの。

## 2 施設内容

富山市の地域経済の活性化や市民の健康づくり、スポーツ振興につなげることを目的に、市総合体育館に隣接する市有地において東京五輪の正式種目となっている3×3バスケットボールの屋外コートを整備する。市総合体育館はBリーグ（プロバスケットボールリーグ）の富山グラウジーズのホームアリーナとして使用されており、バスケットボールを楽しむ空間として、一体的に利用できるものとし、このエリアのスポーツ交流拠点としての機能強化を図る。

## 3 施設の管理運営

富山市体育協会（指定管理者）

## 4 事業計画

令和2年 整備工事着工

令和3年3月 竣工式及び供用開始

令和4年3月末までは無料期間

## ■特色

国際バスケットボール連盟（FIBA）の公式ルールに準じたコートを整備し、3×3 JAPAN TOURなどの大規模な大会の誘致に結び付けることにより、関係人口や交流人口の創出・拡大を図るとともに、民間イベントとの連携などにより地域経済の活性化につなげる。

■開設年月日 令和3年3月20日

## 〔金沢市〕

### 金沢市第二本庁舎

（総事業費 約5,370,000千円）

## ■規模・構造

敷地面積7,756㎡、延床面積 12,179㎡

鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階・地上3階建

## ■施設概要

1階 教育委員会、環境局、農林水産局、調査統計室、その他行政委員会

2階 危機管理センター、福祉指導監査課、外郭団体

3階 職員研修所

地下1階 駐車場

※地上駐車場を含め130台（来庁者用50台、公用車用80台）駐車可能

## ■特色

- (1) 近代的形態と歴史的意匠を併せ持つ建物
- (2) 歴史的景観に調和した外観と住宅地への配慮
- (3) 省エネルギーに配慮した構造

■開館年月日 令和2年5月7日

## 〔福井市〕

### 福井市消防局 中消防署北分署

（総事業費 231,329千円）

## ■規模・構造

鉄骨造 2階建

延床面積【1階】373.87㎡ 【2階】167.60㎡

【合計】541.47㎡

## ■施設概要

### 1 設置目的

消防防災体制の充実強化

### 2 施設内容

【1階】事務室、出動準備室、車庫、食堂兼ミーティングルーム、打ち合わせ室、査察台帳室、資機材倉庫、救急用資機材庫、救急消毒室、油庫、倉庫、分団車庫、分団倉庫、防災資機材庫、ホール、便所（男女）

【2階】仮眠室（8部屋）、更衣室（男女）、便所（男女）、浴室（男女）、脱衣室（男女）、物置、分団詰所

### 3 利用用途

消防分署、消防分団本部

### 4 施設の管理運営

直営

## ■特色

本施設は消防分署としての機能のほか消防分団本部としての機能も併せ持つ施設であるため、ホールを挟み建物東側を消防分署、建物西側を消防分団本部としている。消防分署は、緊急時の迅速な出動を考慮し、事務室から出動準備室、車庫へスムーズにつながる間取りとなっており、また、24時間勤務体制で勤務するため職員の業務と生活面に配慮し、仮眠室は2階に配置（個室タイプ）した。さらには、女性職員の配置に対応できるよう男女別の浴室となっている。分団本部部分は、分団員が災害時や警戒待機時に長時間詰めることがあるため、給湯設備を設けている。分署、分団共に消防車両が駐車可能な車庫を設け、車両の大型化に対応できるように、車両周囲のスペースを確保している。

■開設年月日 令和3年4月1日

## 〔甲府市〕

### 甲府市協働支援センター

（総事業費 4,000千円）

## ■規模・構造

鉄筋コンクリート3階建

## ■施設概要

### 1 設置目的

市民、市民活動団体（自治会、ボランティア・NPO団体など）、事業者など多様な主体による協働のまちづくりの推進を支援する拠点施設として設置した。

## 2 施設内容

市民カフェ（利用者が自由に使用できる休憩コーナー）、相談コーナー、研修室、活動室、ボランティア会議室、子ども応援センター

## 3 利用用途

ボランティア活動を始めようと考えている方や、NPOの立ち上げを検討されている方の相談受付や、公益的な活動を行う市民活動団体が無料で利用できる貸出施設（研修室、活動室、ボランティア会議室）を設置しているほか、協働支援センターを活用した研修を開催し、市民活動団体の活動が活性化されるよう支援を行っている。

## 4 管理運営

甲府市

## ■特色

「あつまり」、「つながり」、「活躍する」をコンセプトとし、様々な方があつまり、交流を深める場を提供することでつながり、地域で活躍していただけるよう、施設の無料貸し出しのほか、相談窓口の設置や情報発信、研修の実施などの支援を行う。

なお、廃校となった小学校の校舎を再活用したことから、事業費は1階トイレの改修費のみ。

■開設年月日 令和2年8月11日

## 〔長野市〕

## 長野市国民宿舎松代荘

（総事業費 795,870千円）

## ■規模・構造

鉄骨造平屋建

## ■施設概要

## 1 設置目的

松代荘は、市民及び観光客の保養と健康増進に資するために設置した施設である。

本事業は、松代荘を改修し、良質な温泉資源を活用した市民及び観光客の保養と健康増進に資する施設とすることで、宿泊者及び日帰り入浴者、さらには松代地区の観光入込客の増加につなげ、また、周辺観光の拠点とすることで、観光客の市内滞在時間延長による経済波及効果と交流人口の増加、経済の活性化につなげることを目的とする。

## 2 施設内容

## 【構造】

本館：鉄骨造平屋（床面積3,935.87㎡）

宿泊者浴室棟：鉄骨造平屋（床面積 454.40㎡）

大広間棟：鉄骨造平屋（床面積 239.17㎡）

新館客室棟：鉄骨造平屋（床面積 453.63㎡）

## 【建築年】

旧館：昭和39年 新築（取壊し済）

本館：平成10年 増築

宿泊者浴室棟：平成19年 増築（中宴会場含む）

新館客室及び大広間棟：令和2年 増築

## 【客室数】

本館 和室（10畳）：13部屋

（12.5畳）：1部屋

モダン和室（2ベッド）：10部屋

洋室（ツイン）：6部屋

（シングル）：4部屋

特別室（風呂付）：1部屋

新館 特別室（風呂付）：1部屋

和洋室（2ベッド）：4部屋

洋室（ツイン）：4部屋

## 【客室定員】152名

【温泉泉質】含鉄(Ⅱ)ーナトリウム・カルシウムー塩化物温泉

【温泉湯量】毎分630.1リットル(自噴)平成29年度平均値

## ■特色

松代は、真田十万石の城下町として「長野の小京都」とも言われている歴史の町であり、「松代荘」はこの地域の一角に位置する松代温泉にある。建物の外観は、歴史の町にふさわしい武家屋敷風。また、武田信玄の隠し湯にちなんで、「風林火山」をイメージした広々としたロビーと四季の趣をかもし出す日本庭園が特徴。さらに松代荘の温泉は、源泉かけ流しの天然温泉で湯量の豊富さとともに、含有成分・種類も豊富で、美肌や切り傷、やけどなどの外傷に効果があるといわれている。

■開館年月日 昭和39年8月12日（リニューアル後のグランドオープン：令和3年2月3日）

## 〔岐阜市〕

## 中山道加納宿まちづくり交流センター

（総事業費 262,009千円）

## ■規模・構造

平屋建・木造（敷地面積）1,165.73㎡（建築面積）

539.67㎡（延床面積）475.05㎡

## ■施設概要

## 1 設置目的

加納宿を中心とした中山道の沿道の歴史及び文化の継承を図り、地域住民との協働によるまちづくり活動の場を提供することにより、地域住民相互の交流を促進し、もって地域の活性化に寄与するもの。

## 2 施設内容

○場 所：岐阜市加納本町一丁目16番地1

○開館時間：午前9時～午後5時

○休 館 日：月曜日、年末年始（12月29日～1月3日）

○主 要 室：貸会議室 3室（予約制・1室240円/1時間）ロビー（休憩スペース・展示スペース）トイレ（年末年始を除く休館日も利用可能）

- 3 施設の管理運営  
岐阜市開発指導景観課による直営

■開設年月日 令和2年10月14日

### 〔豊田市〕

#### 豊田地域医療センター診療棟

(総事業費 16,000,000千円)

##### ■規模・構造

- 地下1階／手術室、各種検査室、厨房等  
地上1階／受付・会計、外来診察室、各種検査室等  
地上2階／リハビリ室  
地上3～6階／病室(190床)

##### ■施設概要

- 設置目的  
市民の健康保持及び医療体制の充実
- 施設内容  
規模・構造のとおり
- 利用用途  
高齢者医療、在宅医療支援、健康診断、救急医療、看護師養成
- 管理運営  
公設民営(運営/公益財団法人豊田地域医療センター)

##### ■特色

診療棟では病床数増加(150床から190床へ増床)による受入体制の強化に加え、リハビリ機能の充実により、在宅療養へと復帰するまでの間の切れ目のない医療を提供するとともに、「地域」との関わりをより大切にする病院を目指す。

■開設年月日 令和2年12月7日

### 〔大津市〕

#### 高機能消防指令システム(更新整備事業)

(総事業費 1,020,055千円)

##### ■施設概要

- 設置目的  
高機能消防指令システムは、緊急通報(119番)の受信、消防隊等への支援情報の提供など消防指令管制業務を行う上で最も重要な基幹システムであり、24時間365日、絶対的な安定稼働が必要である。しかし、旧高機能消防指令システムは、平成19年度から運用を開始し、平成29年3月末日をもって製造メーカーが推奨する耐用年数(10年)が超過し、保守点検契約の継続ができなくなったことから更新整備を行ったもの。

##### ■特色

本高機能消防指令システムの整備については、平成30年度に新高機能消防指令システム本体及び更新整備場所(庁舎)改修工事等に係る実施設計、平成31年度に庁舎改修及び指令システム整備工事を実施し、

令和2年11月17日から新高機能消防指令システムを運用開始。

##### 【更新整備に係る重点目標】

- (1)最先端の情報通信技術(ICT)を駆使した最新鋭の高機能消防指令システムへの更新
- (2)災害現場対応の迅速化を図るとともに、的確な災害対応による市民の安心と安全の確保
- (3)支援情報システム等(付随設備)の機能強化による経費節減、事務の効率化

##### 【新たに導入したシステム等】

- (1)デジタル無線との相互接続中間サーバーの設置
- (2)Net119緊急通報システムの導入
- (3)多言語サポートシステムの導入
- (4)緊急通報の迂回装置の設置

■開設年月日 令和2年11月17日 運用開始

### 〔豊中市〕

#### 地域共生センター

(総事業費(予定) 947,201千円)

##### ■規模・構造

鉄筋コンクリート造

##### ■施設概要

- 目的  
老朽化している施設を複合施設として建替え、社会福祉の増進や地域の交流促進を図り地域共生社会の実現に寄与していく。
- 内容
  - ・地域団体に活動の場を提供することで地域福祉活動の充実を支援し、地域の交流やつながりづくりを進める。
  - ・複合施設内の機関・団体等との連携を図り、分野を超えた包括的な相談支援により、地域包括ケアシステム豊中モデル推進の一翼を担う。

■開設年月日 令和3年4月6日

### 二ノ切温水プール

(総事業費(予定) 2,124,839千円)

##### ■規模・構造

鉄骨造一部鉄筋コンクリート造  
地上2階地下1階

##### ■施設概要

- 目的  
旧二ノ切温水プールは、昭和62年(1987年)に供用開始されたが、老朽化が著しいことから、利用者に安全安心なサービスを提供するため、隣接地に同規模、同程度の施設を建替えるもの。
- 内容
  - (経緯)平成31年度～新館建築工事、令和3年3月1日新館供用開始、令和3年6月まで旧館跡地芝生広場整備工事
  - (機能)成人用プール25m(7コース)、幼児用

(特徴) 障害者や高齢者用入水用スロープを設置。  
維持管理経費削減のため勾配屋根等を採用。

■開設年月日 令和3年3月1日

## 〔尼崎市〕

### 城内まちづくり整備事業

(総事業費 1,264,527千円)

#### ■規模・構造

鉄筋コンクリート造り 3階建

#### ■施設概要

- 設置目的  
尼崎の歴史文化に学び、未来に向けた新たな活動が生まれる拠点
- 施設内容
  - ・1階：事務室・埋蔵文化財関係  
事務室・市民活動室・埋蔵作業室・遺物洗浄室・遺物整理室・一時収蔵庫等
  - ・2階：常設展示・資料収蔵整理関係  
ガイダンス室・常設展示室・特別収蔵庫・資料整理室・写真室・書庫等
  - ・3階：(1)企画展示・教育普及関係、(2)あまがさきアーカイブズ関係  
(1)企画展示室・展示学習室・体験学習室・講座室等  
(2)地域史料閲覧室・収蔵庫・書庫・フィルム写真庫等
- 利用用途
  - ・ボランティアや市民団体等が活動に参画する市民と共にあゆむ博物館
  - ・子どもたちの初めての博物館体験を大切にした学校教育との積極的連携
  - ・体験・交流型の活動や市民の歴史研究の場としてレファレンスを重視
- 管理運営  
尼崎市

#### ■特色

- ・歴史的建造物である旧尼崎高等女学校校舎（昭和13年築）を文化財として保存・活用
- ・歴史博物館、埋蔵文化財センター、公文書館（地域研究史料館）の機能を併せ持つ歴史文化の拠点
- ・歴史・考古・民俗・美術等に関する資料を一括して広く収集・整理・保存し、展示・公開、教育普及、市民活動支援、調査研究の諸機能を集約
- ・子どもから大人までわかりやすい展示や子どもたちが歴史体験できる場を整備
- ・市民自らの歴史文化を生かした新たなまちづくり活動の創出に貢献

■開設年月日 令和2年10月10日

## 〔西宮市〕

### 西宮市立西宮養護学校

(総事業費 約4,920,000千円)

#### ■規模・構造

R C造3階（一部4階）建

#### ■施設特徴

小学部、中学部、高等部の児童生徒が在籍する特別支援学校。

全館空調、校舎中央部分の屋内スロープ、校舎内の室内温水プールなど、障害の重度・重複化、多様化に対応できる教育環境を整備している。また、校舎は、中庭を囲む回廊型とし、全体として明るく、中庭を介して校舎全体を見渡しやすい形状となっている。

■開設年月日 令和3年9月1日

### 西宮市立大箇市民館

(総事業費 約160,000千円)

#### ■規模・構造

S造（軽量鉄骨）1階建

#### ■施設特徴

地域コミュニティの拠点施設として、耐震性に課題のある施設を建替えることにより、利用者の安全性を高め、指定避難所として活用するとともに、地域活動の活性化を図る。

■開館年月日 令和3年8月1日（予定）

### 西宮市役所第二庁舎（危機管理センター）

(総事業費 約8,440,000千円)

#### ■規模・構造

R C造12階建（一部S造）

#### ■施設特徴

複数の庁舎に分散している、災害時の初動対応を担う部署を第二庁舎に集約し、西宮市の防災・危機管理の中核拠点として、巨大地震や台風・集中豪雨など近年頻発している自然災害のほか、さまざまな危機事案に対する防災拠点として整備。（中間層免震を採用）

■開設年月日 令和3年4月5日

## 〔和歌山市〕

### 和歌山市民図書館

(総事業費 3,457,374千円)

#### ■規模・構造

鉄骨造6階建

#### ■施設概要

- 設置目的  
本来の図書館機能に加え、商業施設等と連携した相乗効果を期待した「まちの賑わい創出」の拠点とする。

2 施設内容

1 階及び3階から5階が市民図書館、2階は自転車駐車場。

3 利用用途

図書館

4 管理運営

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

■特色

和歌山市駅前地区市街地再開発事業に位置づけられ、市民図書館・商業・宿泊等の各機能を備えた再開発ビルに移転。

■開設年月日 令和2年6月5日

〔松江市〕

**松江市立義務教育学校玉湯学園**

(総事業費 4,614,393千円)

■規模・構造

校舎：木造3階建

(一部鉄筋コンクリート造・鉄骨造)

屋内運動場：鉄筋コンクリート造2階建

(一部木造)

■施設概要

1 設置目的

玉湯小学校と大谷小学校を統合し、玉湯中学校と併せ義務教育学校を設置する。

2 施設内容

○玉湯学園の概要

玉湯中学校のグラウンドに新校舎を建設。新グラウンドを玉湯中学校校舎北側に造成(平成29～30年度工事)。

新校舎を第一校舎、玉湯中学校を第二校舎として活用。屋内運動場も同様に新屋内運動場を第一体育館、玉湯中学校体育館を第二体育館として活用。

○たまゆ幼稚園、玉湯児童クラブも同一敷地内に建設

玉湯学園と同様の敷地内に玉湯幼稚園と大谷幼稚園を統合した“たまゆ幼稚園”、玉湯児童クラブを建設。

<建物概要>木造2階建 延床面積：993.3㎡  
(1F 幼稚園、2F 児童クラブ)

3 設置主体

松江市

4 施設の管理運営

松江市

■特色

・義務教育学校と幼稚園、児童クラブを同一敷地内に整備

三つの施設が集まる利点を活かし、幼稚園から義務教育が修了するまで一貫した教育環境を整備した。

・松江市をはじめとした地域産木材の活用

木のあたたかみ溢れる学校とした。木材の地産地消推進のため、松江市産材及び島根県産材を活用し、大量の地域産材を調達するため、工事に先行して木材調達業務を発注した。

・木造でありながら大規模かつ3階建の校舎

平成26年の建築基準法改正に伴い、様々な延焼防止対策を施すことにより、木造でありながらも大規模かつ3階建の校舎。

■開設年月日 令和3年4月1日

〔倉敷市〕

**市営川辺団地**

(総事業費 1,273,800千円)

■規模・構造

1 棟：鉄筋コンクリート造、3階建 40戸、集会室  
駐車場40台、駐輪場40台

2 棟：鉄筋コンクリート造、2階建 18戸  
駐車場18台、駐輪場18台

■施設概要

1 設置目的

倉敷市災害公営住宅整備計画に基づき、被災者の恒久的な住まいの確保を目的とする。

2 施設内容

鉄筋コンクリート3階建、住戸58戸(災害公営住宅40戸・市営住宅建替18戸)、集会室、ごみ置場、駐輪場、駐車場

3 利用用途

居住用

4 管理運営

当面は倉敷市による直営で管理する。指定管理者への委託時期は未定。

■特色

市営住宅として58戸、及び付帯施設としてEV1基、ごみ置き場、集会室、駐輪場、駐車場の整備をしたもの。災害等により浸水の恐れが生じたとき、整備住宅の屋上を含め、浸水時緊急避難場所(一時的な緊急避難場所)として使用できる。

■開設年月日 令和3年3月25日

**市営有井団地**

(総事業費 513,755千円)

■規模・構造

鉄筋コンクリート造、3階建 20戸、集会室

駐車場20台、駐輪場20台

■施設概要

1 設置目的

倉敷市災害公営住宅整備計画に基づき、被災者の恒久的な住まいの確保を目的とする。

2 施設内容

鉄筋コンクリート3階建、住戸20戸、集会室、ごみ置場、駐輪場、駐車場

- 3 利用用途  
居住用
- 4 管理運営  
当面は倉敷市による直営で管理する。指定管理者への委託時期は未定。

#### ■特色

市営住宅として20戸、及び付帯施設としてEV1基、ごみ置き場、集会室、駐輪場、駐車場の整備をしたもの。災害等により浸水の恐れが生じたとき、整備住宅の屋上を含め、浸水時緊急避難場所（一時的な緊急避難場所）として使用できる。

■開設年月日 令和3年4月8日

### 市営箭田南団地

（総事業費 726,000千円）

#### ■規模・構造

鉄筋コンクリート造、3階建 31戸、集会室  
駐車場31台、駐輪場31台

#### ■施設概要

- 1 設置目的  
倉敷市災害公営住宅整備計画に基づき、被災者の恒久的な住まいの確保を目的とする。
- 2 施設内容  
鉄筋コンクリート3階建、住戸31戸、集会室、ごみ置場、駐輪場、駐車場
- 3 利用用途  
居住用
- 4 管理運営  
当面は倉敷市による直営で管理する。指定管理者への委託時期は未定。

#### ■特色

市営住宅として31戸、及び付帯施設としてEV1基、ごみ置き場、集会室、駐輪場、駐車場の整備をしたもの。災害等により浸水の恐れが生じたとき、整備住宅の屋上を含め、浸水時緊急避難場所（一時的な緊急避難場所）として使用できる。

■開設年月日 令和3年4月8日

### 阿津防災備蓄倉庫

（総事業費 270,220千円）

#### ■規模・構造

- ・屋根・外壁は、断熱性能をもった「金属性断熱サンドイッチパネル」
- ・収納量約500m<sup>3</sup>（1.1m×1.1mの標準パレット318個収納可能）

#### ■施設概要

- 1 設置目的  
大地震・台風など、被災時における被災者支援の充実を図るため
- 2 施設内容  
非常用発電機室 1棟

事務所 1棟  
倉庫 1棟

- 3 利用用途  
飲料水・乾パン等支援物資の備蓄、大規模災害時、国・県からの支援物資の受け入れ、避難所へ搬送するための物資の仕分け
- 4 管理運営  
直営

#### ■特色

- ・10t車による搬入・搬出が可能
- ・フォークリフトの運用による積み込み作業が可能
- ・荷捌きスペースを確保
- ・停電に備え非常用発電機を設置
- ・温度・時間設定による換気扇稼働が可能

■開設年月日 令和3年3月18日

### 西阿知小学校・西阿知幼稚園

（総事業費 2,066,163千円）

#### ■規模・構造

4階建・鉄筋コンクリート造

#### ■施設概要

- 1 設置目的  
児童・園児の増加に対応するため
- 2 施設内容  
1階：幼稚園、2階から4階：小学校
- 3 利用用途  
小学校、幼稚園
- 4 管理運営  
倉敷市

■開設年月日 （小学校）令和2年11月6日  
（幼稚園）令和2年11月9日

### 〔高松市〕

### 高松市川島こども園

（総事業費 967,057千円）

#### ■規模・構造

地上2階建 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

#### ■施設概要

- [所在地] 高松市川島東町253番地4
- [敷地面積] 5,066.24m<sup>2</sup>
- [建築面積] 1,279.00m<sup>2</sup>
- [延床面積] 2,277.23m<sup>2</sup>
- 1階 1,183.78m<sup>2</sup>
- 2階 1,075.74m<sup>2</sup>
- P F階 17.71m<sup>2</sup>
- [定員] 229人
- [保有諸室] 保育室、遊戯室、子育て支援室、早出居残り室、職員室、調理室、相談室 等

#### ■特色

高松市立幼保連携型認定こども園整備基本計画に

基づき、川島保育所と山田幼稚園を統合し、令和3年4月から高松市川島こども園を開園する。

本施設は、幼稚園と保育所の機能を併せ持ち、保護者の就労形態にかかわらず、就学前の子どもに、ひとしく質の高い教育と保育を一体的に提供できる機能を持つ、幼保連携型認定こども園である。

■開館年月日 令和3年4月1日

## 高松市仏生山交流センター・中部総合センター（仮称）

（総事業費 1,860,308円）

### ■規模・構造

鉄筋コンクリート造2階建

### ■施設概要

仏生山交流センターについては、香川県と高松市の共同設置による香川県農業試験場跡地を活用したまちづくり検討委員会からの報告書を基として策定された、香川県農業試験場跡地北側エリア整備基本計画に基づき、人が集い賑わいのある文化・交流の促進を目的として整備している。

また、中部総合センター（仮称）については、高松市地域行政組織再編計画並びに地域包括支援センター及び保健センターの出先機関の統合整備方針に基づき、本庁機能の分散の受皿として、市民に対して、より身近な場所で行政サービスを提供することができるよう整備する。

### ■特色

交流広場や公園と連続する屋外広場をL型に取り囲む構成とすることで、交流広場・公園とつながりを持たせ一体利用できるよう計画するとともに、仏生山地区の特徴でもある連子格子をモチーフとした縦ルーバーや、土壁調の外壁を採用し、仏生山地区の景観と調和するように工夫を凝らしている。

■開設年月日 令和4年3月1日

## 〔大分市〕

### 大友氏館跡庭園

（総事業費 468,460千円）

### ■規模・構造

保護土・パルコートによる遺跡保護、GRC材による景石複製・設置

科学分析結果等による植栽の再現整備

### ■施設概要

園池：池、中島、想定築山、滝石、景石、州浜導水溝（北溝・東溝・南溝）、排水溝（西溝）、植栽樹木等

遺構表示：井戸跡、小池跡、白玉砂利敷き、推定建物跡

管理施設：排水ポンプ・カマ場（排水施設）、西側井戸ポンプ、北側井戸ポンプ（給水施設）、園路、仮設柵、入口、維持管理作業用ヤード、電気設備等

### ■特色

本庭園については、16世紀後半に大友宗麟とその息子の義統（よしむね）が活躍した時代の庭園を復元したもの。庭園には戦国時代の大名の中では最大規模といわれる東西67m、南北30mの池があり、中島を境に東と西で異なる池の景色がある。また庭園を彩る樹木は、出土した種子や花粉を分析して得た情報等をもとに再現している。

今後は、「大おもて」と呼ばれた中心建物を大友宗麟公生誕500年となる2030年の完成を目指すとともに、隣接する「南蛮B V N G O（なんばんぶんご）交流館」とあわせて情報発信に努め、より多くの人が集まり、賑わい、歴史・文化を学び、国指定史跡「大友氏遺跡」を活用したまちづくりや地域活性化に寄与する。

■開館年月日 令和2年6月5日

## 〔鹿児島市〕

### 鹿児島市国際交流センター

（総事業費 1,849,597千円）

### ■構造

鉄骨造陸屋根8階建（県分含む）

### ■施設概要

・国際交流に関する機会を創出し、国際相互理解を促進することにより、鹿児島市の国際交流を推進するための拠点施設。県との合築施設であり、鉄骨造8階建（市国際交流センターは1階・2階の一部）

#### 【施設内容】

- 1階：交流ラウンジ、多目的ホール、研修室など
- 2階：調理室、和室、研修室など
- 3階～8階：留学生等の居住施設（県）

#### ・設置主体

鹿児島市（市分）

#### ・管理運営主体

鹿児島市

### ■特色

#### 【施設の役割】

主な事業

#### ①国際交流の推進に関すること

新入在住外国人の歓迎交流会、ボランティア勉強会 など

#### ②国際理解の推進に関すること

多言語による異文化体験講座・絵本の読み聞かせ教室 など

#### ③国際協力の推進に関すること

青年海外協力隊経験者の報告会、有識者等を招いての講演会 など

#### ④多文化共生の地域づくりの推進に関すること

日本語支援教室、在住外国人のための生活情報勉強会 など

■開設年月日 令和2年4月1日

### 地域包括支援センター武・田上 武岡事業所

(総事業費 652,301千円)

#### ■構造

鉄筋コンクリート造4階建 1階部分

#### ■施設概要

・地域包括支援センター武・田上の支所として、総合相談支援、権利擁護、介護予防ケアマネジメントなどの業務を担う。

・設置主体

鹿児島市

・管理運営主体

社会福祉法人高齢者介護予防協会かごしま

#### ■特色

地域包括支援センター20か所目のセンター。

地域包括支援センター武・田上の支所(サブセンター)として設置。

支所(サブセンター)としては、3か所目。

■開設年月日 令和2年8月3日

### 鹿児島中央駅東口駅前広場観光案内所

(総事業費 36,080千円)

#### ■構造

鉄骨造平屋建

#### ■施設概要

・鹿児島市の陸の玄関である鹿児島中央駅周辺の回遊性を高めるとともに、観光客等の受入体制の充実を図るため、東口駅前広場に新たに設置した観光案内所

所在地：鹿児島市中央町37番地1

開所時間：8時から18時まで(年中無休)

・設置主体

鹿児島市(市分)

・管理運営主体

(公財)鹿児島観光コンベンション協会

#### ■特色

提供する主なサービス等

・観光客への観光案内、交通案内(外国語対応可)

・各種チケット類(1日乗車券等)の販売(キャッシュレス決済対応)

・Wi-Fiが利用できる休憩スペースの提供

・手荷物預かり、発送

・マイボトル用給水機の設置

■開設年月日 令和3年4月1日

### かごしま健康の森公園パークゴルフ場

(総事業費 650,480千円)

#### ■構造

管理棟：木造平屋建

倉庫棟：木造平屋建

#### ■施設概要

・ホール数

36ホール(コース総延長：1,624m)

Aコース(きょうちくとう) 距離393m

Bコース(みやまきりしま) 距離437m

Cコース(くすのき) 距離406m

Dコース(かいこうず) 距離388m

・設備等

更衣室、トイレ、多目的トイレ、授乳室、休憩スペース、屋外テラス等

・使用料

普通券：一般1人1日600円、児童・生徒1人1日300円

・回数券(11枚綴り)：一般6,000円、児童・生徒3,000円

※使用料には、貸クラブ・貸ボール料を含む

・設置主体

鹿児島市

・管理運営主体

指定管理者

#### ■特色

・かごしま健康の森公園の既存の地形を最大限に活用した変化に富んだコース

・県内の公営パークゴルフ場では最長となる96mのロングホール

■開設年月日 令和2年11月13日

### 加治屋まちの杜公園

(総事業費 612,617千円)

#### ■構造

交流広場(芝生・舗装ブロック)、風の丘(樹木・芝生)

#### ■施設概要

・園路広場 芝生広場、園路

・修景施設 植栽、芝生、花壇、ミスト、トレリス

・休養施設 デッキ、六角東屋、一本脚休憩所、R型シェルター、サークルベンチ、長ベンチ、背付ベンチ、平ベンチ

・遊戯施設 コンビネーション遊具

・便益施設 トイレ、水飲場、時計塔、レストランカフェ、駐車場

・管理施設 柵、照明、サイン

・その他の施設 マンホールトイレ、トイレベンチ

・設置主体

鹿児島市

・管理運営主体

鹿児島市

#### ■特色

当公園は、中心市街地の回遊性の向上に資する新たな潤いの拠点となる緑地として整備を行った。また、公園の魅力向上や財政負担の削減を目的に、パークPFI制度を導入し、民間事業者によるレスト

ランカフェ等の設置及び管理運営を行っている。

公園内の施設は、バリアフリーに配慮し、トイレや水飲み場のほか、車椅子専用スペースを確保した屋根付き休憩所、点字表示も施した総合案内板などを設置し、夏場の熱中症対策としてミストの設置や、舗装材に遮熱効果のある透水性平板ブロックを使用するなど、誰もが安全で快適に利用できるよう配慮している。

また、日頃の地域コミュニティの場としてだけでなく、災害時の一時的な避難場所としても利用できることから、災害時に使用できるマンホールトイレやトイレベンチなどを設置している。

■開設年月日 令和2年10月23日

### 〔那覇市〕

## 那覇市人材育成支援センターまーいまいNaha

(総事業費 969,497千円)

### ■規模・構造

鉄筋コンクリート造2階建

### ■施設概要

- 1 設置目的  
人材育成を図るとともに、住民の学習・交流活動を支援するための拠点施設として整備する。
- 2 施設内容  
1階：和室、調理実習室、会議室、図書室等  
2階：ホール、スタジオ、研修室、学習室等
- 3 利用用途  
上記「2 施設内容」のとおり
- 4 管理運営  
那覇市

### ■特色

沖縄振興や観光振興などに役立つ人材の育成、市民の学習・交流活動を支援するため、人材育成機能、ライブラリー機能、コミュニティ機能を備えた施設として設置。

■開館年月日 令和2年4月1日

## ともかぜ振興会館

(総事業費 1,753,484千円)

### ■規模・構造

鉄筋コンクリート造3階建

### ■施設概要

- 1 設置目的  
沖縄戦直前の旧日本軍による飛行場建設に伴う用地収収により失われた旧大嶺集落の歴史等を次世代へ継承し、平和を希求する想いを発信するとともに、市民の健康づくり、地域のコミュニティ活動や文化芸術活動の場を提供すること等により地域の振興及び活性化に寄与するもの。
- 2 施設内容

多目的ホール(実践練習場及び控室を含む。移動観覧席座席数270)、企画展示室、会議室(5室)、相談室、ふれあい情報コーナー、伝統芸能指導スペース、研修室(3室)、トレーニング室、ボランティア室

### 3 利用用途

上記「2 施設内容」のとおり

### 4 管理運営

那覇市

### ■特色

施設概要「1 設置目的」のとおり

■開館年月日 令和2年8月29日

# 議長会等の動き

(令和3年2月下旬～令和3年5月下旬)

会議名 長崎県市議会議長会定期総会  
開催月日・場所 4月8日 松浦市・松浦シティホテル  
概要 事務報告（後期）、令和2年度収支決算、令和3年度役員の改選及び推薦、令和3年度予算、各種会議の開催計画について審議がなされ、了承又は承認、決定された。

また、各市から提出された議案24件を原案のとおり採択し、県関係国会議員等へ要望することを決定した。

なお、採択された各議案を集約した「西九州地域の交通網の整備促進について」、「離島振興について」及び「都市財政の充実強化について」の3件を、第96回九州市議会議長会定期総会に長崎県13市共同提出議案として提出することに決定した。

## (議案)

- 1 都市財政の充実強化について (長崎市)
- 2 交通網の整備促進について (長崎市)
- 3 環大村湾道路網の整備促進について (長崎市)
- 4 西九州自動車道の整備促進について (佐世保市)
- 5 国道205号の整備促進について (佐世保市)
- 6 九州新幹線西九州ルートの着実な整備及びJR佐世保線等の輸送改善について (佐世保市)
- 7 地域高規格道路「島原道路」の早期整備について (島原市)
- 8 災害に強いまちづくりの推進について (島原市)
- 9 一般国道(34号・57号・207号)の早期整備について (諫早市)
- 10 九州新幹線西九州ルートの着実な整備について (諫早市)
- 11 幹線道路等の早期整備について (大村市)
- 12 九州新幹線西九州ルートの全線フル規格による整備等について (大村市)
- 13 西九州自動車道の整備促進について (平戸市、松浦市)
- 14 観光客激減対策に向けた継続的な支援について (対馬市)

- 15 離島海上高速交通体系の維持について (対馬市)
- 16 空港の整備等について (壱岐市)
- 17 離島航路における海上高速交通体系の維持について (壱岐市)
- 18 海洋再生可能エネルギーによる島づくりの支援について (五島市)
- 19 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金(航路・航空路運賃の低廉化)の対象者拡大について (五島市)
- 20 道路交通網の整備促進について (西海市)
- 21 道路交通網の整備促進について (雲仙市)
- 22 地域高規格道路「島原天草長島連絡道路」(南島原市深江町～口之津港間)と「愛野小浜バイパス」の早期事業化及び「一般国道57号」「一般国道251号」の雲仙市愛野町から南島原市口ノ津港までの機能強化について (南島原市)
- 23 九州西岸軸構想とその中核となる島原・天草・長島架橋構想の推進について (島原市、南島原市)
- 24 鷹島神崎遺跡の保存と活用について (松浦市)

会 議 名 中核市議会議長会第1回総会  
 開催月日・場所 4月12日 書面会議による開催  
 概 要 令和2年度決算報告、令和3年度事業計画(案)及び予算(案)、国等への要望事項(案)等について審議され、すべて承認された。令和3年度の役員については、原案のとおり会長を旭川市、副会長を八戸市と佐世保市、監事を高崎市と枚方市に決定し、相談役を松山市へ委嘱した。

また、第16回議会報コンクールでは、最優秀賞に青森市、優秀賞に和歌山市及び倉敷市、特別賞に柏市及び山形市が選出された。

会 議 名 九州市議会議長会支部長・相談役会議  
 開催月日・場所 4月26日 鹿児島市・鹿児島サンロイヤルホテル  
 概 要 役員の補欠選任、定期総会の日程及び運営、各支部提出議案、令和3

年度全国及び九州市議会議長会役員を選任、次回開催市、理事会の運営及び開催、議員年金制度に関する研修会の開催、九州市議会事務局長会の開催、西日本市議会職員研修会の開催についての報告がなされ、了承された。

会 議 名 九州市議会議長会第5回理事会  
開催月日・場所 4月27日 書面会議による開催  
概 要 役員補欠選任、定期総会の日程及び運営、新任議長の報告、令和2年度事務報告及び決算報告、令和3年度全国及び九州市議会議長会役員選任、感謝状の贈呈、慶弔規程適用についての報告がなされ、了承された。

会 議 名 第96回九州市議会議長会定期総会及び第1回理事会  
開催月日・場所 4月27日 書面会議による開催  
概 要 新任議長の報告、令和2年度事務報告及び決算報告の後、令和3年度の役員を選任し、会長を鹿児島市、副会長を那覇市に決定した。相談役に宮崎市、政令指定都市の福岡市、北九州市及び熊本市の議長に委嘱することを了承し、令和3年度予算について原案のとおり決定した。  
次に、各県から提出された次の議案21件を原案のとおり決定し、国に対し要望することを決定した。  
全国市議会議長会定期総会への提出議案については、「日米地位協定の抜本的な改定及び在沖米軍基地の負担軽減について」、「新型コロナウイルス感染症対策と地域経済等への支援について」及び「九州における高速交通網等の整備促進について」の3件を正議案とし、予備議案として「地域医療の充実強化並びに自治体病院の医師確保対策及び財政支援措置について」に決定した。  
また、議員年金制度に関する研修会を7月29日に沖縄県那覇市で、九州市議会事務局長会を11月1日～2日に鹿児島県鹿屋市で、西日本市議会職員研修会を11月4日～5日に愛媛県松山市で開催予定であることが報告された。

(各支部提出議案)

- 1 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う地域経済などへの対策とワクチン接種体制の構築への支援を求める要望について (熊本県)
- 2 日米地位協定の抜本的な改定及び在沖米軍基地の負担軽減について (沖縄県)
- 3 都市財政の充実強化について (長崎県)
- 4 医療保険制度の抜本的改革について (福岡県)
- 5 新型コロナウイルス感染症対策について (福岡県)
- 6 廃棄物処理対策の法令等による対策強化について (福岡県)
- 7 保育士給与の格差の是正について (佐賀県)
- 8 地域医療の充実強化並びに自治体病院の医師確保対策及び財政支援措置について (宮崎県)
- 9 地域医療の確保について (鹿児島県)
- 10 新型コロナウイルス感染症の収束を見据えた地域経済等への対策について (宮崎県)
- 11 農林漁業の振興対策について (鹿児島県)
- 12 地域公共交通維持のための財政支援拡充について (佐賀県)
- 13 幹線交通網の整備促進について (佐賀県)
- 14 西九州地域の交通網の整備促進について (長崎県)
- 15 離島振興について (長崎県)
- 16 中九州地域の交通網の整備促進について (熊本県)
- 17 東九州地域の広域交通網の整備促進について (大分県)
- 18 豪雨災害からの早期復旧等及び災害復旧事業の財政措置について (大分県)
- 19 宮崎県の高速度道路等交通網の早期整備について (宮崎県)
- 20 南九州地域の交通網の整備促進について (鹿児島県)
- 21 鉄軌道を含む新公共交通システムの早期導入について (沖縄県)

会 議 名	全国自治体病院経営都市議会協議会第49回定期総会
開催月日・場所	5月19日 書面会議による開催
概 要	事務報告、令和2年度決算、令和3年度事業計画(案)、令和3

年度予算（案）について認定又は決定された。

最後に、自治体病院の経営基盤安定のための財政措置の拡充強化、医師の地域偏在・診療科偏在を解消するための医療提供体制の均てん化施策を早急に実施することなどの8項目からなる決議（案）が採択された。

会 議 名 九州市議会議長会第2回理事会  
開催月日・場所 5月25日 書面会議による開催  
概 要 役員補欠選任について異議なく了承された。なお、先の定期総会において可決された21議案について、会長市が関係省庁、衆参議長、各政党へそれぞれ要望活動を行うこととし、各支部長市は県関係国会議員へ要望活動を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、要望書を郵送することで要望活動に代えた。

会 議 名 全国市議会議長会第227回部会長会議及び第223回理事会  
開催月日・場所 5月25日 書面会議による開催  
概 要 「都市問題に関する特別委員会」における令和4年度のテーマ及び各委員会への付託（案）が採択された。

会 議 名 全国市議会議長会第97回定期総会  
開催月日・場所 5月26日 書面会議による開催  
概 要 部会提出議案（27件）、会長提出議案（5件）、役員改選等について審議が行われ、原案のとおり決定した。

（部会提出議案）

- 1 東日本大震災からの早期復旧・復興について (東北部会)
- 2 原子力発電所事故災害への対応について (東北部会)
- 3 水害対策を確実に実施するための支援について (東海部会)
- 4 新型コロナウイルス感染症対策と地域経済等への支援について (九州部会)

- 5 新型コロナウイルス感染症拡大の影響下における安定的行政運営のための地方自治体への財政的支援について (関東部会)
- 6 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の更なる充実について (北信越部会)
- 7 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の継続及び弾力的な運用について (東海部会)
- 8 地域活性化に資する制度創設等による支援策の拡充について (関東部会)
- 9 地方議会からの意見書の扱いに係る制度の確立について (東海部会)
- 10 北方領土問題の早期解決等について (北海道部会)
- 11 北朝鮮による拉致問題の早期解決について (北信越部会)
- 12 日米地位協定の抜本的な改定及び在沖米軍基地の負担軽減について (九州部会)
- 13 自治体デジタル・トランスフォーメーション推進への支援について (四国部会)
- 14 地域おこし協力隊任期後の定住・定着支援事業の拡充について (四国部会)
- 15 緊急防災・減災事業債制度の充実・強化と恒久化について (関東部会)
- 16 子ども医療費助成制度の国による制度化について (四国部会)
- 17 パーキンソン病患者をはじめ難病患者対策の推進を求めることについて (中国部会)
- 18 幼児教育・保育の充実について (近畿部会)
- 19 ひきこもりに対する実効性のある支援策を求めることについて (近畿部会)
- 20 水道施設更新・改良に関する国庫補助制度等の拡充と創設について (近畿部会)
- 21 北海道の道路整備について (北海道部会)
- 22 道路交通網の整備促進について (東北部会)

- 23 山陰道の建設促進について (中国部会)
- 24 九州における高速交通網等の整備促進について (九州部会)
- 25 北海道新幹線の建設促進について (北海道部会)
- 26 北陸新幹線の整備促進について (北信越部会)
- 27 山陰への高速鉄道の実現について (中国部会)

(会長提出議案)

- 1 多様な人材の市議会への参画促進に関する決議
- 2 ポストコロナ禍を展望した地方行財政の充実に関する決議
- 3 新型コロナウイルス対策に関する決議
- 4 頻発・激甚化する大規模災害等からの防災・減災対策及び復旧・復興対策等に関する決議
- 5 東日本大震災からの復旧・復興に関する決議

# 委員会だより

(令和3年2月下旬～6月上旬)

※定例会・臨時会中の常任委員会を除く。

## 【議会運営委員会】

開催日 3月1日

事 件 1 追加付議事件について  
2 追加議案の委員会付託分類について  
3 議会関係付議事件について  
4 陳情の取扱いについて  
5 特別委員会について  
6 長崎市議会委員会条例の一部を改正する条例について  
7 長崎市議会会議規則の一部を改正する規則について

概 要 1 について説明を受け、了承した。  
2～7 についてそれぞれ協議し、決定した。特別委員会については、「長崎駅周辺整備・交通結節対策」、「ポストコロナ経済対策」、「ポストコロナ交流人口拡大対策」の3つの委員会を設置することに決定した。

開催日 3月4日

事 件 1 特別委員会委員の確認について  
2 特別委員会正副委員長会議の開催について

概 要 1 について、確認した。  
2 について説明を受け、了承した。

開催日 3月11日

事 件 1 追加付議事件について  
2 追加議案の委員会付託分類について

概 要 1 について説明を受け、了承した。  
2 について協議し、決定した。

開催日 5月12日

事 件 1 令和3年第2回長崎市議会臨時会について  
2 令和3年第2回長崎市議会臨時会の運営について

概 要 1 について説明を受け、了承した。  
2 について協議し、決定した。

開催日 6月4日  
事件 1 令和3年第3回長崎市議会定例会について  
2 令和3年第3回長崎市議会定例会の運営について  
概要 1 について説明を受け、了承した。  
2 について協議し、決定した。

【長崎駅周辺整備・交通結節対策特別委員会】

開催日 3月9日  
事件 正副委員長の互選及び座席の指定について  
概要 上記事項についてそれぞれ協議し、決定した。

開催日 4月22日  
事件 座席の指定、調査目的、調査方針、調査項目及び開催計画について  
概要 上記事項についてそれぞれ協議し、決定した。

開催日 5月26日  
事件 これまでの長崎駅周辺整備にかかる特別委員会での検討状況について  
概要 上記事項について、理事者から説明を受け、質疑を行った。

【ポストコロナ経済対策特別委員会】

開催日 3月9日  
事件 正副委員長の互選及び座席の指定について  
概要 上記事項についてそれぞれ協議し、決定した。

開催日 4月22日  
事件 調査目的、調査方針、調査項目及び開催計画について  
概要 上記事項についてそれぞれ協議し、決定した。

開催日 5月26日  
事件 本市の経済支援・経済対策の現状について  
概要 上記事項について、理事者から説明を受け、質疑を行った。

【ポストコロナ交流人口拡大対策特別委員会】

開催日 3月9日  
事件 正副委員長の互選及び座席の指定について  
概要 上記事項についてそれぞれ協議し、決定した。

開催日 4月20日  
事件 調査目的、調査方針、調査項目及び開催計画について  
(現地調査を含む。※出島メッセ長崎)  
概要 上記事項についてそれぞれ協議し、決定した。  
その後、出島メッセ長崎の現在の進捗状況について現地調査を行った。

開催日 5月27日  
事件 交流人口拡大のための取組と今後の展開について  
概要 上記事項について、理事者から説明を受け、質疑を行った。

# 図書室だより

(令和3年3月～令和3年5月)

## 新刊図書

図 書 名	編 著 者 名	発 行 所
コロナ危機の経済学 －提言と分析－	小林 慶一郎 森川 正之	日本経済 新聞出版
アフターコロナの都市計画 －変化に対応するための地域主導型改革－	石井 良一	学芸出版社
w i t h コロナ時代の新しい学校づくり －危機から学びを生み出す現場の知恵－	村川 雅弘	ぎょうせい
地方創生×SDGs×ESG投資 －市場規模から見た実践戦略で 甦る地方自治体と日本－	赤川 彰彦	学陽書房
「生きた」議員提案条例をつくろう －条例の種を見つけて作れる！ 変化に応じて見直せる！－	津軽石 昭彦	第一法規
日本のオンライン教育最前線 －アフターコロナの学びを考える－	石戸 奈々子	明石書店
3ステップで学ぶ自治体 SDGs STEP 1 －基本がわかるQ&A－	笹谷 秀光	ぎょうせい
3ステップで学ぶ自治体 SDGs STEP 2 －実践に役立つメソッド－	笹谷 秀光	ぎょうせい
3ステップで学ぶ自治体 SDGs STEP 3 －事例で見るまちづくり－	笹谷 秀光	ぎょうせい
LGBTとハラスメント	神谷 悠一 松岡 宗嗣	集英社
男性の育休 －家族・企業・経済はこう変わる－	小室 淑恵 天野 妙	PHP研究所

= MEMO =

調 査 資 料 報

[令和3年6月]

編集・発行 長崎市議会事務局議事調査課  
〒850-8685 長崎市桜町2番35号  
TEL (095) 829-1200  
FAX (095) 829-1199